



取扱説明書

このたびは、株式会社 SHOEI（以降、当社）のヘルメット：OPTICSON（以降、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。より安全に、快適なモーターサイクルライフを送っていただくために、本製品をご使用前に同梱の安全マニュアルおよび本取扱説明書をよく読み、機能および注意事項を十分に理解してからご使用ください。

本取扱説明書は、いつでも必要なときに取り出せる場所に保管してください。本取扱説明書を紛失した場合は、当社までお問い合わせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。本取扱説明書に使用されているイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

本取扱説明書の著作権は、株式会社 SHOEI にあります。無断で転載または複製することは、固く禁じられています。

サポート・お問い合わせ

お問い合わせに関しましては、お買い求めの販売店、もしくは弊社 Web サイトのお問い合わせフォームよりお願いいたします。

<https://www.shoei.com/contact/rider>



お買い求めの販売店へのお問い合わせが困難な場合は、下記へお問い合わせください。

製品の修理・保証サービスに関するお問い合わせ

株式会社 SHOEI SSJ 事業推進部 顧客サービス担当

〒 101-0021 東京都千代田区外神田 2-15-2 新神田ビル SHOEI Gallery TOKYO 内

TEL：03-4335-7098

製品の販売、仕様に関するお問い合わせ

株式会社 SHOEI 国内営業部

〒 110-0016 東京都台東区台東 1-31-7

TEL：03-5688-5180

ツーリングサポーターに関するお問い合わせ

ツーリングサポーターのヘルプ / サポートページよりお問い合わせください。

製造元

株式会社 SHOEI

〒 110-0016 東京都台東区台東 1-31-7 8F

TEL：03-5688-5180

www.shoei.com

目次

はじめに 2

取り扱い時の注意事項..... 7

ヘルメット編 14

1 各部の名称..... 15

2 シリコンオイル..... 17

3 チンカーテン 17

4 CNS-1 シールド..... 18

5 防曇シートを使用する場合..... 24

6 ヘルメットの内装..... 24

7 E.Q.R.S. (Emergency Quick Release System) 30

8 パーツリスト 31

HUD 編 32

1 仕様..... 33

2 各部の名称..... 34

3 使用の準備..... 36

4 使用..... 43

5 メンテナンス 56

はじめに

最初にお読みください

本製品はオートバイ用のヘルメットです。

これ以外の目的に使用しないでください。他の目的でこのヘルメットを使用すると、事故の際、十分な保護が得られないことがあります。

ヘルメットは、全ての予測可能な高速および低速の衝撃から、着用者を保護することはできません。

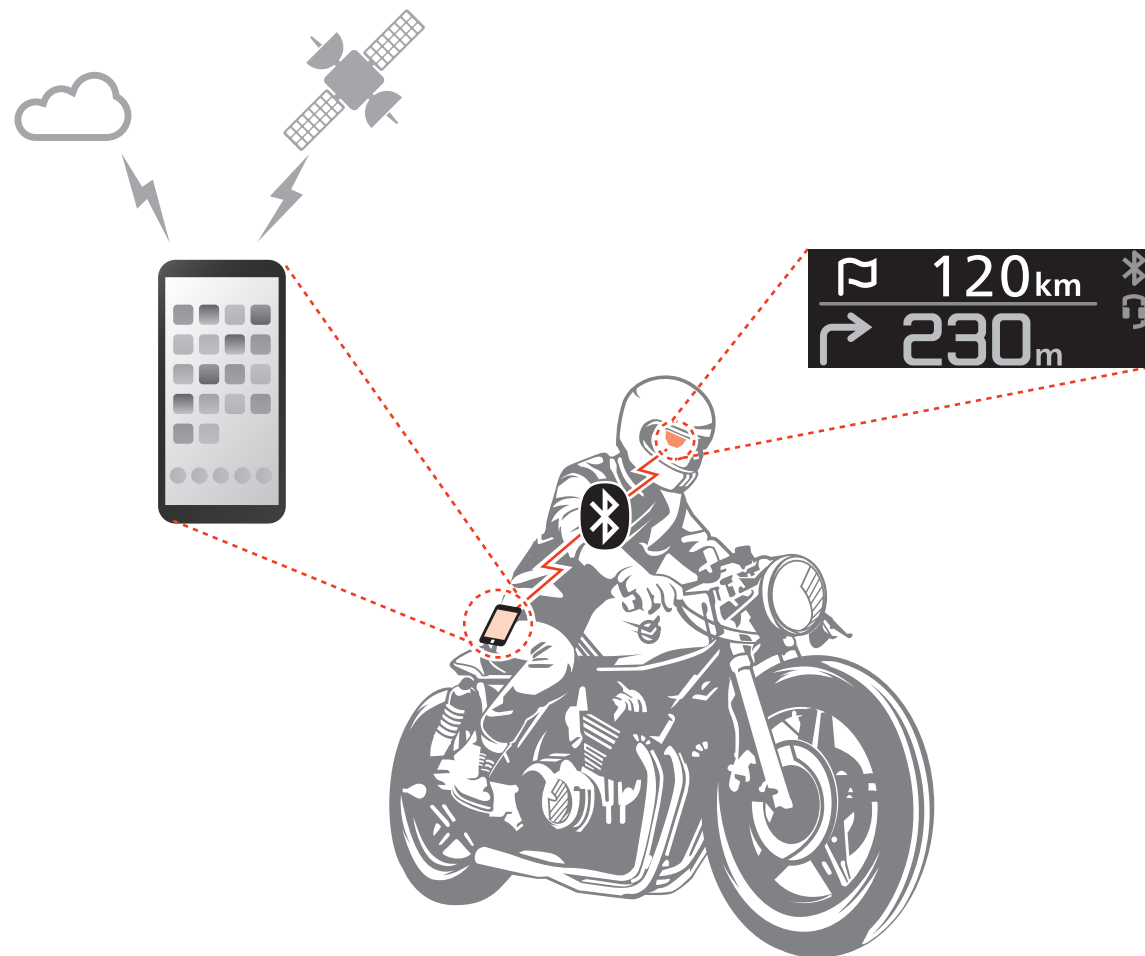
頭部の保護能力を最大まで引き出すために、本製品を頭部に適切にフィットさせ、あごひもをあごの下でしっかりと締め付けてください。

本製品を頭部に固定したときに、十分な周辺視界が確保できなければなりません。本製品を着用する際は、必ず着用者に合ったサイズの製品を装着してください。ヘルメットが大きすぎると、ヘルメットが事故で外れたり、視界を妨げたりする可能性があり、けがや死亡の原因になります。

ヘルメットを正しく着用する方法については、別紙の「安全マニュアル」を参照してください。

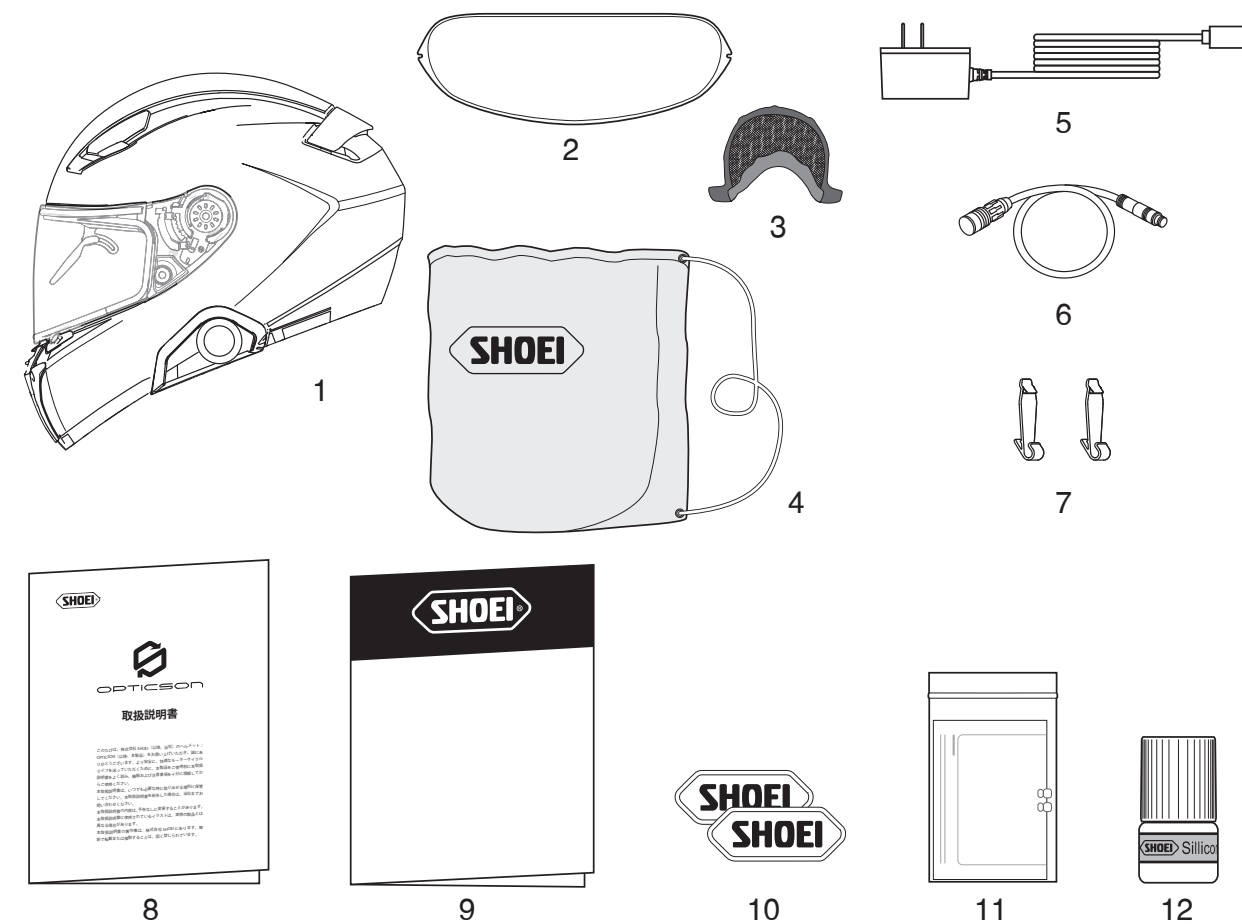
製品概要

本製品は、ヘッドアップディスプレイ（以降、HUD）を装備したヘルメットです。スマートフォンと HUD を Bluetooth 接続することで、スマートフォン向けナビゲーションアプリ「ツーリングサポーター」による道案内や、電話（着信・発信）などの情報を、ヘルメットに装備した HUD のコンバイナに投影し、視線の移動量を最小限に抑えた状態で、さまざまな情報を得ることのできるスマートヘルメットです。



同梱品の確認

1. ヘルメット
2. 防曇シート
3. チンカーテン
4. ヘルメットバッグ
5. AC アダプター
6. バッテリーコード
7. コードホルダー
8. 取扱説明書
9. 安全マニュアル
10. SHOEI ロゴステッカー
11. 防曇シート用ピン
12. シリコンオイル



廃棄について

梱包物（箱や緩衝材）は、修理時の送付などのために、できるだけ保存されることをお勧めします。
ヘルメットおよび付属品、梱包物を廃棄する場合は、地域の法律やルールに従って適切に処理してください。

本取扱説明書の表記ルールについて

危険レベルの表記

本製品は、着用者の安全を第一に考え、設計されています。しかしながら、全ての予測可能な高速および低速の衝撃から、着用者を保護することはできません。本取扱説明書では、それらの危険性のレベルを、「警告」、「注意」、「注記」事項の3段階に分けて表示しています。表示項目をよく読み、十分に理解してから、本製品の使用およびメンテナンス作業を行ってください。

「警告」、「注意」の表示は、人身傷害に関する重大性の順（警告＞注意）となっており、「注記」は物的損害を示します。

 **警 告**

この表示の内容を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

 **注 意**

この表示の内容を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、本製品やバイクなどに、損害や故障をひきおこすおそれがあります。

注 記

この表示の内容を守らないと、本製品やバイクなどに、損害や故障をひきおこすおそれがあります。

「重傷」、「中等傷」、「軽傷」の定義

「重傷」	失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が出るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
「中等傷」	全治1カ月未満の入院を必要とし、軽度の後遺症が出るもの。
「軽傷」	治療に入院や長期の通院が必要ないもの。

その他の表記

本書では、前述の危険レベル分けのほかに、以下の表記も使用しています。

重要 「重要」項目は、本製品の運用上、特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。

メモ 「メモ」項目は、本製品の運用上、役立つ情報や内容がある場合に記述します。

名称などの表記

本書では、スイッチ類、画面上の表示部や操作部の表記を、以下のようにルール表記しています。

表記	用途	例
“ ” (ダブルクォーテーションマーク)	• 入力値、表示値 • メッセージ	“○○○○”と入力 “○○○○”が表示されます
「 」 (かぎ括弧)	• 特定の単語など • 参照先 • ボタン名	「○○○○」では、 「○○○○」を参照 「○○○○」ボタン
※ (コメ印)	• 注釈 • 注釈が複数におよぶ場合は、記号の後に番号を付ける	※○○○○とは… ※1○○○○ ※2○○○○

図、イラストについて

本書に掲載しているイラストは参考イメージです。仕様の違いなどにより、実際の製品と異なる場合がありますのでご了承ください。

製品の保証と責任の範囲

別紙の保証書を参照してください。

商標について

PINLOCK® は、PINLOCK SYSTEMS B.V. の登録商標です。

Apple および Apple ロゴは、米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。

Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。

ツーリングサポーターは、株式会社ナビタイムジャパンの商標または登録商標です。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. USA の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

取り扱い時の注意事項

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

本製品に関する注意事項

警 告

- 本製品を使用する前に本取扱説明書をよく読み、機能および注意事項を十分に理解してから使用してください。本取扱説明書内の指示や警告に従わずに生じた損害については、一切その責任を負いません。
- 本製品を分解したり、コンバイナをカットするなどの改造は行わないでください。
- 本製品の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 本製品を、腐食性ガス、有機溶剤などが発生する場所へ保管しないでください。
- 本製品を使用中に、異音、異臭、発煙、発熱、変色、変形、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを OFF にして、バッテリーコードをバッテリーから抜いてください。その上で、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
万一、本製品が破損した場合は、直ちに電源スイッチを OFF にして、バッテリーコードをバッテリーから抜いてください。そして、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本製品の使用時に、あごひもにバッテリーコードが絡まないようにしてください。
- 本製品の使用時に、バッテリーがバイクなどにぶつからないようにしてください。
- バッテリーコードを抜くときは、必ずバッテリーコネクタを持って、抜いてください。バッテリーコードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で、バッテリーコードを抜き差ししたり、バッテリーやコネクタを触ったりしないでください。感電や、ショートの原因になります。
- 走行中のコンバイナの調整は、大変危険ですので絶対に行わないでください。必ず走行前、または停車中に行ってください。
- 安全のため、走行中は周りの環境に十分注意し、安全運転を心がけてください。走行中に HUD 画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行する際は、必ず実際の交通規制に従うとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両侵入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。
- ご使用前に、シールド左右のフックが確実にハマっているか確認してください。
- センターパッド、チークパッド、チンストラップカバーは、必ず全て装着してご使用ください。
- ヘルメットおよびシールドのお手入れに、40℃を超える湯・塩水・酸性またはアルカリ性の洗剤・ベンジン・シンナー・ガソリン・その他の有機溶剤・ガラスクリーナーなど、有機溶剤を含むクリーナー類は使用しないでください。
これらが付着すると、ヘルメットの構成部材が変質し、安全性に支障をきたす可能性があります。
- 走行中に付着した虫による汚れは、放置すると塗装面を浸食し、完全に除去できなくなりますので、すみやかに取り除いてください。
- シールドや内装、防曇シートなどを交換するときは、必ず純正品を使用してください。
- 運転中に携帯電話を操作することは大変危険であり、法律で禁止されています。走行中の操作は絶対に行わないでください。携帯電話の操作が必要な場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

注 意

- 本製品の部品は、お子様の手の届く範囲には置かないでください。くわえてしまうおそれがあります。
- 本製品の使用後は、必ずバッテリーとバッテリーコードを、本製品から取り外して保管してください。
- 走行中は、バッテリーコードに障害物がぶつからないようにしてください。
- 走行中は、バッテリーを充電しながら、本製品へ接続・使用しないでください。
- メンテナンスの際は、電源スイッチを OFF にして、バッテリーコードをバッテリーから抜いてください。
- バッテリーコードを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- バッテリーコードは奥まで確実に差し込んでください。
- バッテリーコードは使用・保管時に結んだり、束ねたりしないでください。
- 調光センサー部を塞がないでください。HUD 画面の輝度の調整機能が動作しなくなります。

注 記

- HUD 画面を使用する場合、本製品の推奨される使用環境は、気温 0℃～40℃以内です。
0℃未満の低温の環境では、通常的环境よりもバッテリーの消費が多くなることがあります。また、推奨の使用環境外では、HUD 画面の特性上、表示の色味が変わることがあります。
- 本製品を、直射日光下で保管・放置しないでください。
その他、保管時は暖房機器の付近や、温度変化の激しい場所、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
- 本製品は電子部品を装備しているため、ていねいに取り扱ってください。
- ぐらついた台の上や、傾いたところなどの不安定な場所、振動の多い場所で保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、本製品の破損や故障のおそれがあります。
- 本製品の上には物を置かないでください。
置いた物が倒れたり、落下して本製品の破損や故障の原因になることがあります。

HUD に関する注意事項

警 告

- ・ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、事前に医師と相談の上で使用してください。Bluetooth の電波により、ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- ・本製品のスピーカーを大音量にした状態での運転は大変危険です。運転に必要な周囲の音が聞き取りにくくなり、重大な事故の原因になります。
- ・本製品のスピーカーの音量は、周囲の音が優先して確認できる範囲で設定してください。スピーカーの音声に集中すると、運転意識の低下につながり、重大な事故の原因になります。

注 意

本製品のスピーカーの音量は、耳に負担をかけない範囲で設定してください。突然の大音量や、大音量を長時間続けて聞くと、鼓膜の損傷や聴力を損なうおそれがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

注 記

- ・走行中は、基本的にシールドを閉めた状態で使用ください。
- ・本製品の着用中は、シールドやコンバイナが曇らないように、各ベンチレーションシステムを使用して、換気を行ってください。
また、低速走行時はシールドを微開ポジションにすることで換気することができます。
- ・本製品はメガネを掛けて使用可能ですが、メガネの大きさによってはコンバイナに接触する場合があります。コンバイナに接触しないメガネをご使用ください。
- ・偏光レンズを使用したサングラスなどを装着して本製品を使用すると、HUD 画面が暗く見えたり、見えにくくなったりします。
- ・コンバイナは目の保護を目的とした部品ではありません。
- ・装着／脱着時、アクセサリなどがコンバイナに接触しないようにしてください。
- ・コンバイナの昇降機構を調整する際は、必ずコンバイナキャップを持って、調整してください。
- ・HUD モジュールのカバーガラスに、物を落としたり、汚したりしないでください。HUD 画面の表示品質が悪くなります。
- ・コンバイナが濡れた場合は、ドライヤーなどで乾燥させず、メガネ拭きのような柔らかい布で、やさしく拭きあげてください。
コンバイナに傷が付き、視界不良となった場合は、使用せずに交換してください。また、ひび・割れなどがある場合も交換してください。
- ・コンバイナが経年劣化で変色した場合は、使用せずに交換してください。
- ・コンバイナの破損などによる交換については、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・コンバイナのお手入れに、40℃を超える湯・塩水・酸性またはアルカリ性の洗剤・ベンジン・シンナー・ガソリン・その他の有機溶剤・ガラスクリーナーなど、有機溶剤を含むクリーナー類は使用しないでください。

- 重要**
- ・スマートフォンの位置情報精度設定は、「高精度」で使用してください。
スマートフォンのバッテリー節約機能が ON に設定されていると、ツーリングサポーターの道案内が表示されません。必ず OFF にしてください。
 - ・スマートフォンの Bluetooth 接続設定の「HD オーディオ」機能は OFF にして使用してください。
高解像度 (HD) オーディオコーデックを使用すると、本製品のスピーカーから、音声は正常に出力されません。
 - ・カバーガラスに水が溜まったり、結露や曇りが発生した場合は、HUD 画面表示が歪んだり、曲がっているように見えることがあります。

本製品は電波法に適合する工事設計認証を取得し、日本国内での使用許可を得ています。



Bluetooth® について

本製品の Bluetooth® 機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Bluetooth® 機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Bluetooth® 機能の使用にあたり、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® 機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

バッテリーに関する注意事項

警告

- バッテリーは、分解、改造などをしないでください。
ショートをおこし、火災や感電、故障、事故の原因になります。
- バッテリーは必ず OPTICSON 専用バッテリーを使用してください。
市販のモバイルバッテリーを改造して本製品に使用するなどの行為は危険ですので、絶対に行わないでください。
- ストーブやヒーターなどの高温になる場所に近づけたり、火の中に入れたりしないでください。
発火、変形、破損の原因になります。
- バッテリーから漏れ出た液体が目に入った場合、こすらずきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。失明のおそれがあります。
- バッテリーの保管、または使用中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形、破損などの異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。内部でショートしている可能性があり、大変危険です。
- AC アダプターの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。

注意

- バッテリーは直接肌に触れないようにしてください。また、薄手のインナーの上からバッテリーを装着しないでください。低温やけどのおそれがあります。
- バッテリーは、糖尿病などの血行に障害のある方は、医師に相談の上で使用してください。
低温やけどのおそれがあります。
- バッテリーやバッテリーコードを、アクセサリやネックレスなどの鋭利な金属と、直接接触させないでください。感電や、ショートの原因になります。
- 万一、転倒や落下などにより、バッテリーが強い衝撃を受けたり、ひびなどが入った場合は使用しないでください。
- バッテリーは、お子様の手の届く範囲に置かないでください。
- OPTICSON への給電や、バッテリーの充電を行う際は、必ず付属されているバッテリーコードや AC アダプターをご使用ください。
- バッテリーをご使用の際は、適度に肌の状態を確認してください。異常を感じたら直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
体質や体調によっては低温やけどを引き起こすおそれがあります。
- バッテリーから漏れ出た液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- バッテリーのポートや AC アダプター、バッテリーコードのコネクタが汚れたり、ほこりがついたりした場合は、速やかにバッテリーを、AC アダプターやバッテリーコードから取り外し、乾いた布で汚れやほこりなどを拭きとってからご使用ください。コネクタなどの接続部分に異物が混入すると火災や感電、故障、事故の原因になります。
- バッテリーを落下させないように、ご使用ください。

注 記

- バッテリーに必要以上の力を加えたり、無理な付け外しをしたりしないでください。
破損の原因になります。
- バッテリーは防水加工が施されていますが、バッテリーに直接雨がかかる状況では使用しないでください。
- 本製品の推奨環境外では使用しないでください。
- バッテリー内部の電池は、交換できません。
- 必要以上の連続充電をしないでください。バッテリーが満充電になったら、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから外してください。
- バッテリー本体やバッテリーコードに、汗や水滴が付着した場合は、使用后すぐに柔らかい布で拭き取ってください。
- バッテリーを直射日光下で保管・放置しないでください。また、保管時は暖房器具の付近や温度変化の激しい場所、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
- バッテリーを使用しないとき（保管時）は、水に濡れない場所で保管してください。

- 重要
- バッテリーはご購入後、充電を行ってからご使用ください。
 - バッテリーを充電する際は、AC アダプターを接続後、充電が開始されていることを確認してください。
 - バッテリーは繰り返しの使用や経年劣化により、充電容量が下がります。（寿命によるものです。）



Li-ion 30

OPTICSON 専用バッテリーはリサイクルできます。
使用済みのバッテリーは分解せず、回収については
お買い求めの販売店へお問い合わせください。

ヘルメット編
目次

1 各部の名称 15

1.1 ベンチレーションシステム 16

2 シリコンオイル 17

3 チンカーテン 17

4 CNS-1 シールド 18

4.1 シールドの取り扱いに関する注意事項 18

4.2 シールド微開ポジション 19

4.3 シールドの取り外し方 20

4.4 シールドの取り付け方 21

4.5 シールドの調整 22

5 防曇シートを使用する場合 24

6 ヘルメットの内装 24

6.1 内装の取り扱いに関する注意事項 24

6.2 内装の構成 25

6.3 内装の取り外し方 26

6.3.1 チークパッドの取り外し 26

6.3.2 センターパッドの取り外し 27

6.3.3 チンストラップカバーの取り外し 27

6.4 内装の取り付け方 28

6.4.1 チンストラップカバーの取り付け 28

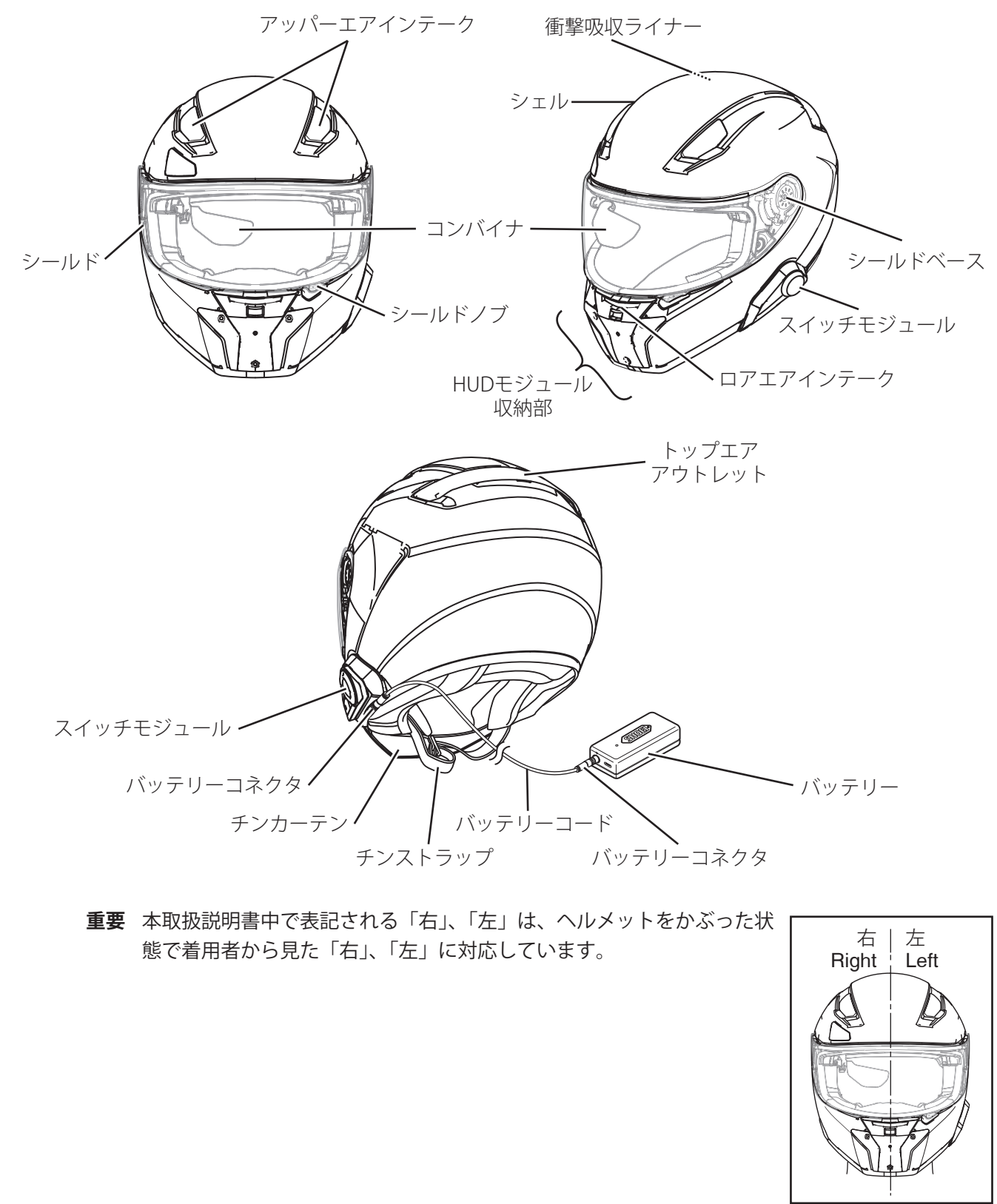
6.4.2 センターパッドの取り付け 28

6.4.3 チークパッドの取り付け 29

7 E.Q.R.S. (Emergency Quick Release System) 30

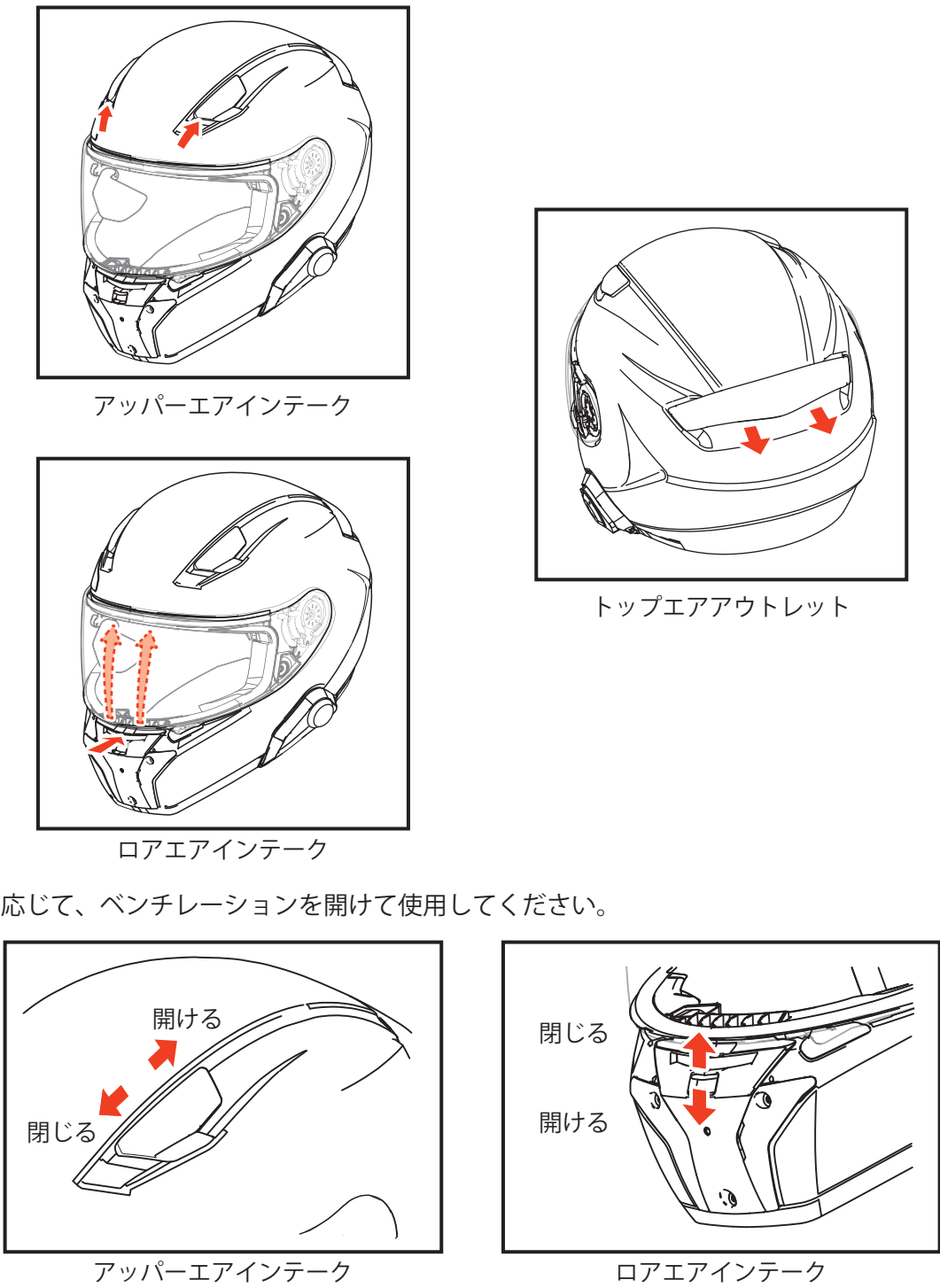
8 パーツリスト 31

1 各部の名称



1.1 ベンチレーションシステム

本製品のベンチレーションによる空気を取り入れ、排出は、以下のイメージのようになります。



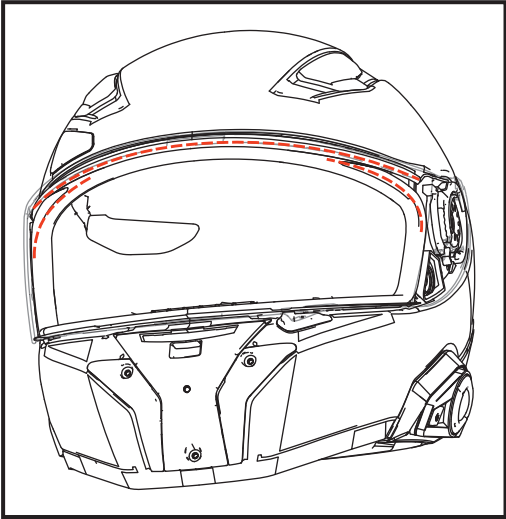
必要に応じて、ベンチレーションを開けて使用してください。

重要 ベンチレーションを開けると、周囲の音が大きく聞こえたり、乗車姿勢によっては風切り音が発生したりする場合があります。

2 シリコンオイル

シールドと窓ゴムの密着性を保つため、図の点線で示した位置に、シリコンオイルを塗布します。常に快適にご使用いただくため、定期的なメンテナンスをお勧めします。

- 1 点線の位置に、ごみやほこりがある場合は、除去します。
- 2 点線の位置に、付属のシリコンオイルを少量塗布してください。
- 3 塗布後は、必ず余分なシリコンオイルを拭き取ってください。シリコンオイルがシールドに付着すると、視界の妨げとなるおそれがあります。

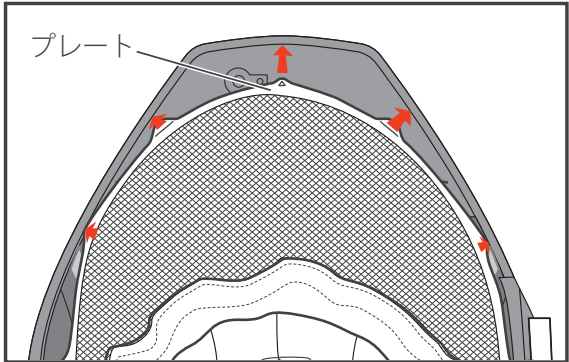


3 チンカーテン

チンカーテンは、ヘルメットの顎周りの巻き込みおよび風切り音の進入を低減します。

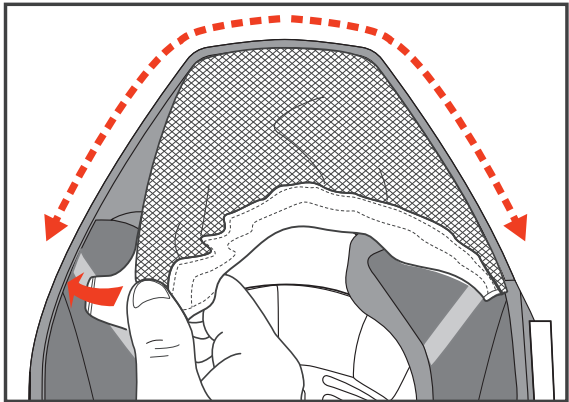
チンカーテンの取り付け方

チンカーテンのプレートの中央の矢印と、ヘルメット先端部の中央を合わせ、シェルと衝撃吸収ライナーの隙間に差し込んだ後、両サイドのプレートを順に差し込みます。



チンカーテンの取り外し方

チンカーテンの中央部分のプレートを引き起こして抜き、その後両サイドのプレートを順に引き抜きます。



 **警告**

- ・チンカーテンを装着すると、周りの車やバイクの音が通常より小さく聞こえるので、運転時は十分ご注意ください。
- ・ヘルメットを持ち運ぶときなどに、チンカーテンを持たないでください。パーツが外れ、ヘルメットが落下して破損する可能性があります。

4 CNS-1 シールド

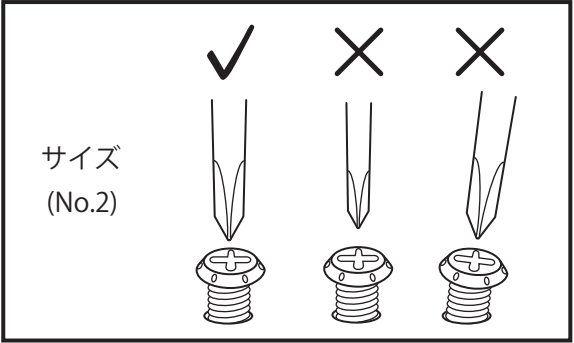
4.1 シールドの取り扱いに関する注意事項

 **警告**

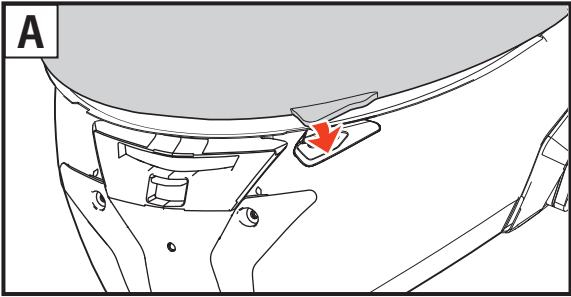
- ・着色シールドは、日中での使用専用です。夜間やトンネル内、雨天や霧など、視界の悪い環境では使用しないでください。
- ・着色シールドは、可視光線透過率を下げ、特定の状況下では視界の妨げとなる場合があります。
- ・着色シールドと、サングラスなどの可視光線透過率を下げる製品を、併用しないでください。視界が妨げられ、大変危険です。
- ・シールドを開けた状態で、高速走行しないでください。

 **注意**

- ・シールドに、ステッカーや粘着テープを貼らないでください。
- ・シールドが曇った状態で走行しないでください。視界が妨げられ大変危険です。シールドが曇った場合、ベンチレーションを開けたり、シールドを開けたりしてヘルメット内をよく換気し、シールドの曇りを取り除いてください。また、防曇シートの使用も、シールドの曇り防止に効果的です。
- ・防曇シートを使用する場合は、必ず純正品を使用してください。取り扱い方法については、防曇シートに同梱されている別紙の取扱説明書を参照してください。
- ・シールドの汚れや傷は、走行中の視界の妨げとなり、大変危険です。シールドが汚れたり傷が付いたりしたら、直ちに使用を中止し、取り外して洗浄するか、交換してください。
- ・シールドのお手入れをする場合は、水で薄めた中性洗剤で洗い、真水でよくすすいでから柔らかい布で拭き取り、乾かしてください。40℃を超える湯・塩水・酸性またはアルカリ性の洗剤・ベンジン・シンナー・ガソリン・その他の有機溶剤・ガラスクリーナーなど、有機溶剤を含むクリーナー類は使用しないでください。これらが付着すると、シールドが変質し、安全性に支障をきたすおそれがあります。
- ・シールドベースをメンテナンスしたり、交換した場合、シールド取り付け後に、シールドを閉め、シールドと窓ゴムの間に隙間がないか確認してください。隙間がある場合、風の巻き込みや風切り音の原因になるため、シールドが窓ゴムに密着するように、シールドベースの位置を調整してください。
- ・スクリューの締め付けなどを行う際は、ビットサイズ「No.2」のプラスドライバーを垂直に当て、ていねいに回してください。サイズの合わないドライバーや電動ドライバーを使用したり、スクリューをななめに締め付けたりすると、ねじ頭が破損する場合がありますので、十分注意して回してください。
- ・スクリューを交換する場合は、必ず純正品（アルミニウム製）を使用してください。
- ・スクリューを強く締めすぎると、スクリューが破損する場合がありますので十分注意して回してください。（推奨締め付けトルク：80cN・m/ 約 8kgf・cm）



- 重要** ・シールドは保護フィルムをはがしてから使用してください。
- ・シールドを完全に下ろすと、シールドノブがフックに掛かります。走行時は、このポジションにすることを推奨します（図 A）。

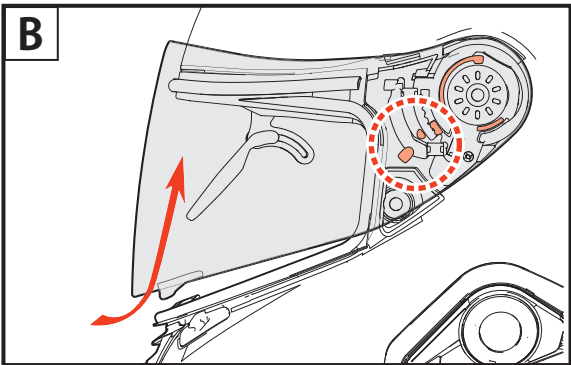


4.2 シールド微開ポジション

シールドが曇った際に、図 B のように微開ポジションにして低速走行することで、ヘルメット内を換気し、曇りを取り除くことができます。

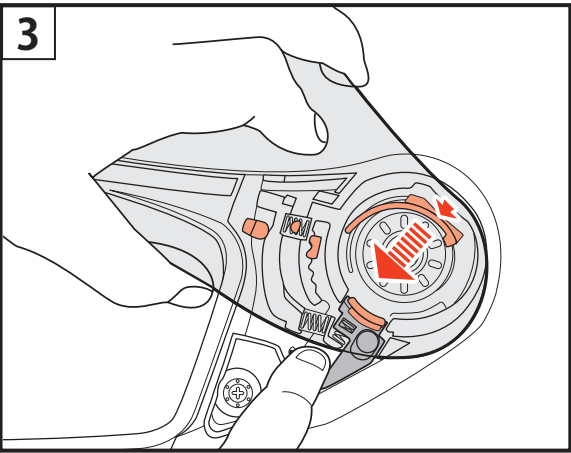
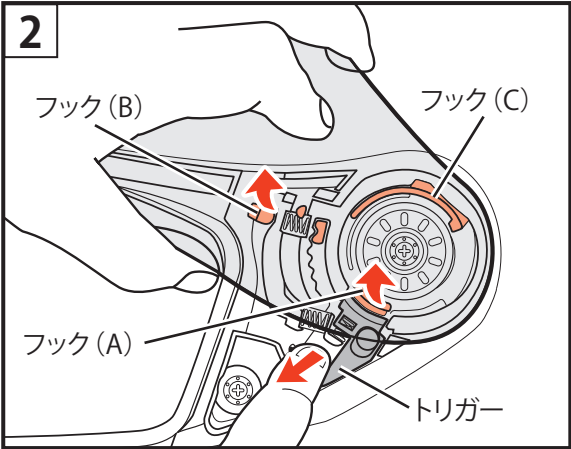
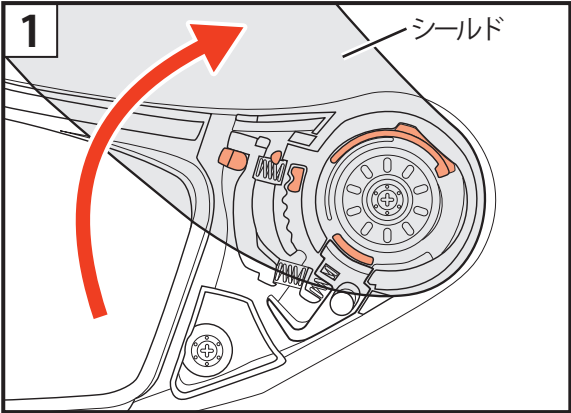
**警告**

微開ポジションの状態で、高速走行しないでください。シールドが不意に開くおそれがあり、大変危険です。



4.3 シールドの取り外し方

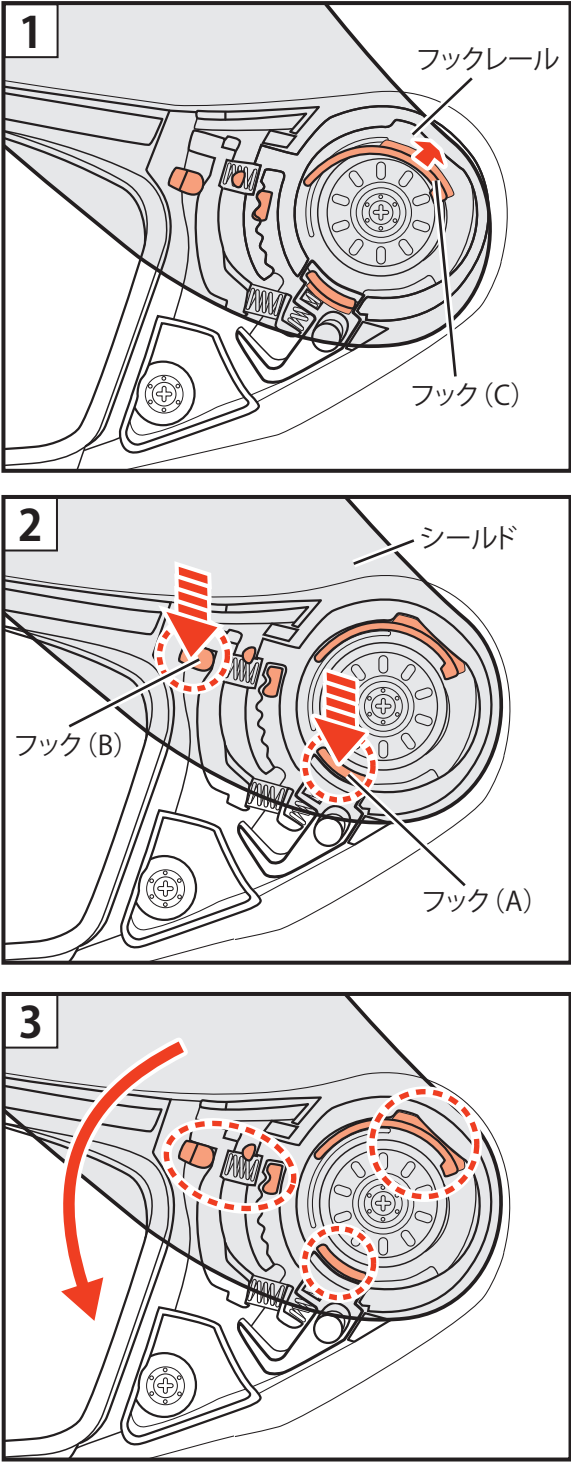
- 1 シールドを全開の状態にします（図 1）。
- 2 トリガーを下に引きながら、シールドを手前に持ち上げ、フック（A）、フック（B）を外します（図 2）。
この状態では、まだシールドは本体から外れません。
- 3 フック（C）を、矢印方向に引き、フックレールから取り外します（図 3）。
シールドの片側がヘルメット本体から外れます。
- 4 反対側も同じ手順で取り外します。



4.4 シールドの取り付け方

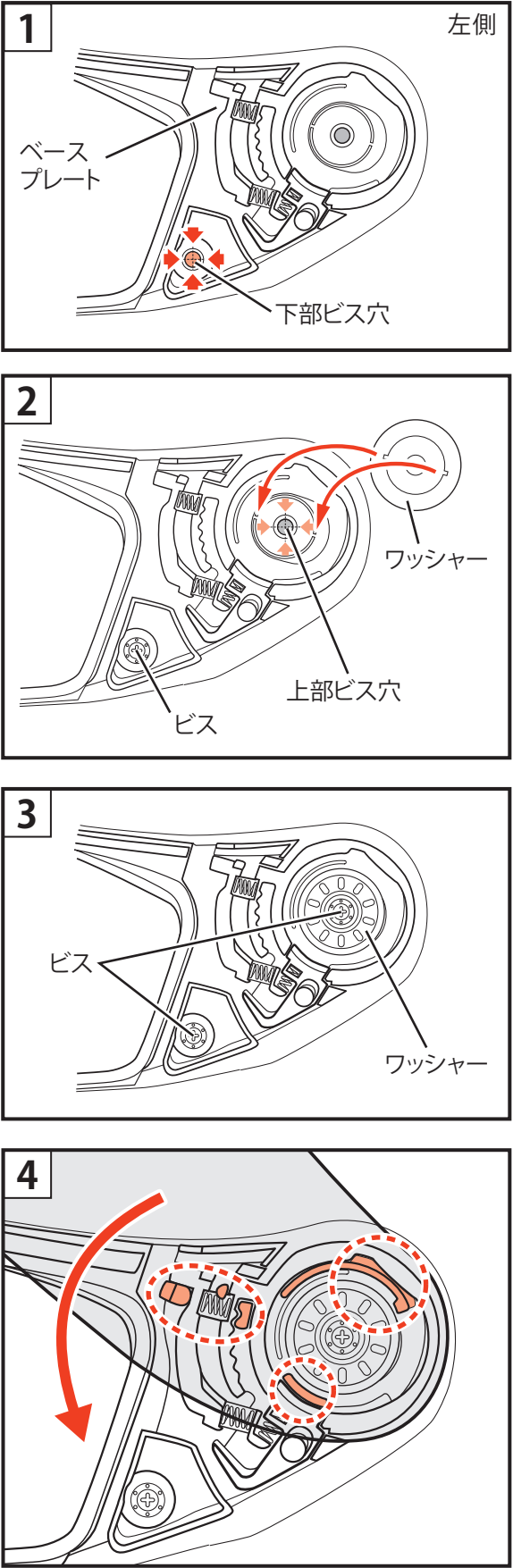
- 1 シールドを全開状態の位置に合わせ、フック (C) をフックレールに差し込みます (図 1)。
- 2 シールドの矢印付近を上からカチッとロックされるまで押し、フック (A)、フック (B) を、フックレールにしっかりとめ込みます (図 2)。
- 3 反対側も同じ手順で取り付けます。
- 4 シールドの取り付け後は、シールド開閉を数回繰り返し、フックがシールドベースに確実にハマっているか、確認してください (図 3)。

警告
フックやギアがシールドベースにはまっていないと、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす可能性があります。また、シールドを完全に下ろした状態で、シールドノブがフックに掛かるか確認してください。



4.5 シールドの調整

- 1 ベースプレートの下部ビス穴を、シェル側の下部ビス穴の上下左右の中心に合わせ (図 1)、スクリューを仮止めします。
- 2 次に、ベースプレートの上部ビス穴を、シェル側の上部ビス穴の上下左右の中心に合わせ (図 2)、ワッシャーを溝に合わせてはめ、スクリューを締め付けた後、下部スクリューも締め付けます (図 3)。
- 3 反対側のシールドベースも同じように取り付けます。
- 4 シールドを取り付けます。取り付け後は、シールド開閉を数回繰り返し、フックがシールドベースに確実にハマっているか、確認してください (図 4)。
- 5 シールドを完全に下ろした状態で、シールドが窓ゴムに密着しているか確認してください。

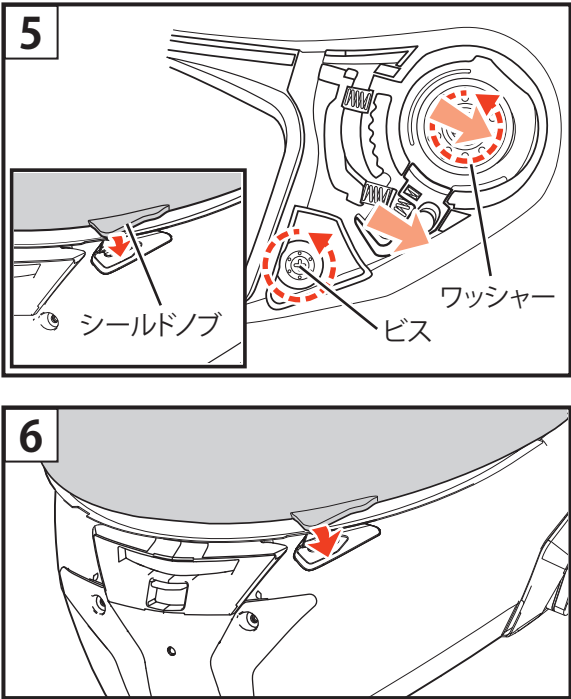


シールドと窓ゴムの間に隙間がある場合

シールドを一度外し、シールドベースの位置を調整します。

- 1 ベースプレートの下部ビス穴、上部ビス穴のスクリューを緩め、シールドベースを図の矢印方向（図 5）にずらして、スクリューを締め直します。
- 2 調整後は、シールドを取り付け、シールドと窓ゴムの間に隙間がないか確認してください。隙間がなくならないときは、再度シールドを外し、同じ手順で反対側のシールドベースの位置を調整してください。
- 3 調整完了後は、シールドを完全に下ろした状態で、シールドノブがフックに掛かるか確認してください（図 6）。

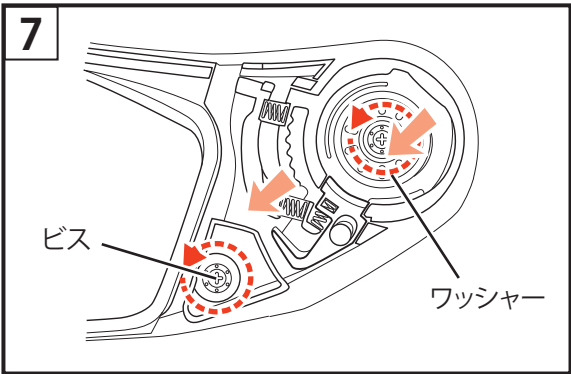
シールドベースの取り付け位置が極端に後方になると、シールドノブがフックに掛からなくなることがあります。また同様に、シールド開閉の際に、シールドがシェルと干渉し、シェルに傷が付くおそれがありますので注意してください。



シールドと窓ゴムがきつく当たっていて、シールドの開閉がしづらい場合

シールドを一度外し、シールドベースの位置を調整します。

- 1 ベースプレートの下部ビス穴、上部ビス穴のスクリューを緩め、シールドベースをほんの少し図の矢印方向（図 7）にずらして、スクリューを締め直します。
- 2 反対側のシールドベースも同じように調整します。
- 3 調整後は、シールドを取り付け、シールドの開閉動作を確認してください。また、シールドと窓ゴムの間に隙間がないか確認してください。



5 防曇シートを使用する場合

防曇シートをご使用の場合は、ご使用の前に防曇シートに同梱されている別紙の取扱説明書を参照してください。

警告

「クリア」タイプ以外のシールドに、防曇シートを装着した状態で、夜間走行はしないでください。

注意

- ・防曇シートは、シールドよりも傷が付きやすい材質でできていますので、取り扱いには十分注意してください。
- ・防曇シートを使用すると、乗車姿勢によっては視界が妨げられる可能性があります。
- ・防曇シートは、シート自体が湿気を吸収することにより高い曇り止め効果を発揮します。しかし、低温多湿などの曇りやすい条件下でヘルメット内が密閉された状態が続くと、水蒸気でシートが飽和状態となり、にじみや曇りが発生することがあります。にじみや曇りが発生すると、視界が妨げられ大変危険ですので、ベンチレーションを開けたり、シールドを開けたりしてヘルメット内をよく換気し、にじみや曇りを取り除いてください。

重要 ・防曇シートは、保護フィルムをはがしてから、使用してください。
・CNS-1 の防曇シートを交換される場合は、必ず純正の SHOEI DRYLENS 301 もしくは PINLOCK® EVO lens DKS301 をご購入ください。

6 ヘルメットの内装

6.1 内装の取り扱いに関する注意事項

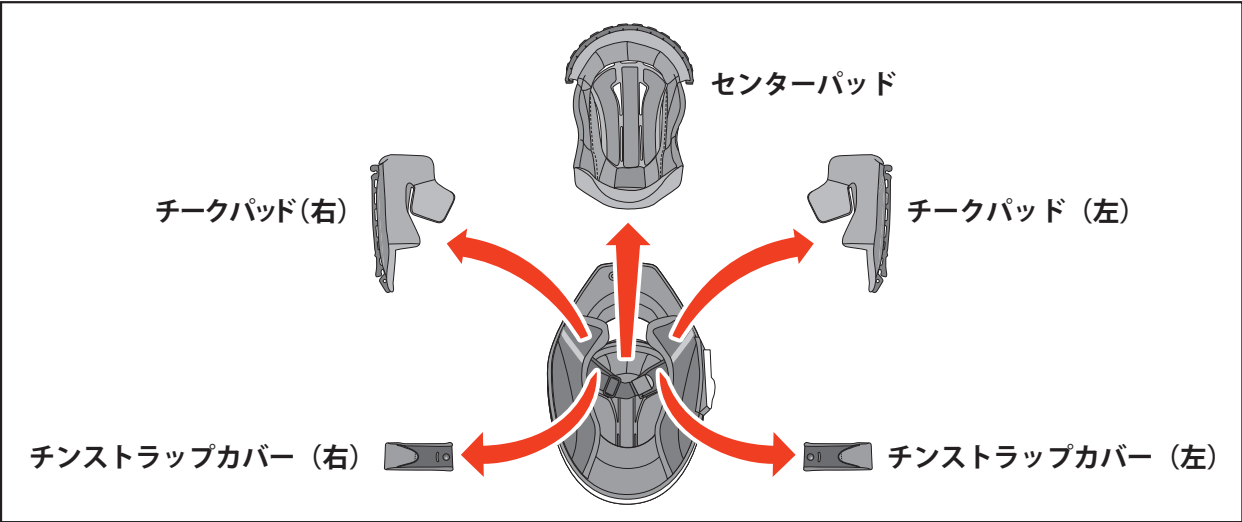
警告

- ・センターパッド、チークパッド、チンストラップカバーは、必ず全て装着して使用してください。
- ・内装を交換する際は、必ず純正品を使用してください。

注意

- ・フックのはめ込み、取り外しはなるべくフックの近くを持ち、ていねいに行ってください。フックはカチッと音がするまで、押し込んで取り付けてください。
- ・内装を洗う場合は手洗いか、洗濯機をご使用の場合はネットに入れるなどして、ていねいに洗ってください。洗濯の際は水またはぬるま湯を使用し、乾いた布で水をふき取ってから陰干ししてください。内装パーツのプラスチック部分を破損するおそれがありますので、強くしぼったり、プラスチック部分を折り曲げたりしないでください。脱水機を使用する場合は、十分ご注意ください。
- ・衝撃吸収ライナー（発泡スチロール部分）は、柔らかい布を水または水で薄めた中性洗剤で湿らせてふいてください。
- ・パーツを破損するおそれがありますので、40℃を超える湯・塩水・酸性またはアルカリ性の洗剤・ベンジン・シンナー・ガソリン・その他の有機溶剤・ガラスクリーナーなど、有機溶剤を含むクリーナー類は使用しないでください。

6.2 内装の構成



本製品は、センターパッド、チークパッド（左右）、チンストラップカバー（左右）を取り外して洗うことができます。また、オプションパッドと交換することで、かぶり心地を調整することができます。

内装を取り外し／取り付けする場合は、名称と図を参照して、確実に行ってください。

内装を交換する場合は、以下の表を参照の上、正しいサイズのものを求めください。

製品サイズ		M	L	XL
TYPE-N センターパッド	オプション（きつめ）	M13	L13	XL13
	標準	M9	L9	XL9
	オプション（緩め）	M5	L5	XL5
OPTICSON チークパッド	標準	35		
	オプション（緩め）	31		

- チークパッドは全サイズ共用パーツです。例えば、M サイズで頬部を緩くしたい場合は、チークパッド 31（オプションパーツ）に交換してください。
- センターパッドは各製品サイズで異なります。ご購入の際、お手持ちのヘルメットのサイズを確認してください。

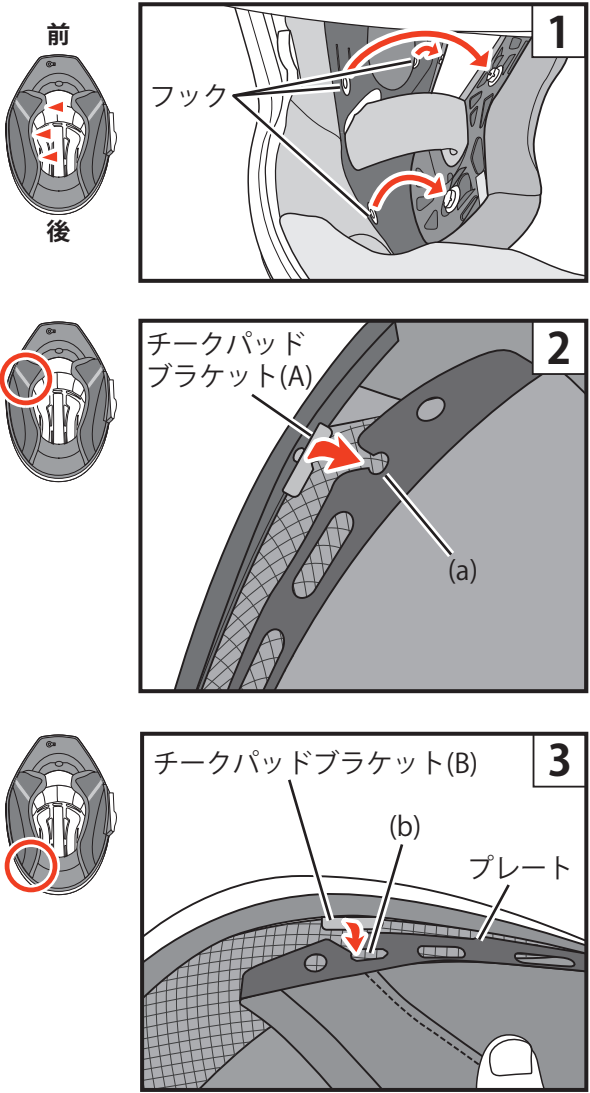
6.3 内装の取り外し方

6.3.1 チークパッドの取り外し

チンカーテンを装着している場合は、先にチンカーテンを取り外す必要があります。手順については、「3 チンカーテン」を参照してください。

- チークパッドベースから引きはがすようにフックを3箇所外します（図1）。
- 前部のチークパッドブラケット（A）から溝（a）を引き抜きます（図2）。引き抜く際は、強く引かずに、ていねいに引き抜いてください。
- 後部のチークパッドブラケット（B）（図3）から溝（b）を引き抜きます。引き抜く際は、強く引かずに、ていねいに引き抜いてください。

必ず溝（a）から外してください。溝（a）を取り付けた状態で溝（b）を真上に引き抜くと、プレートを破損する可能性がありますので、ご注意ください。



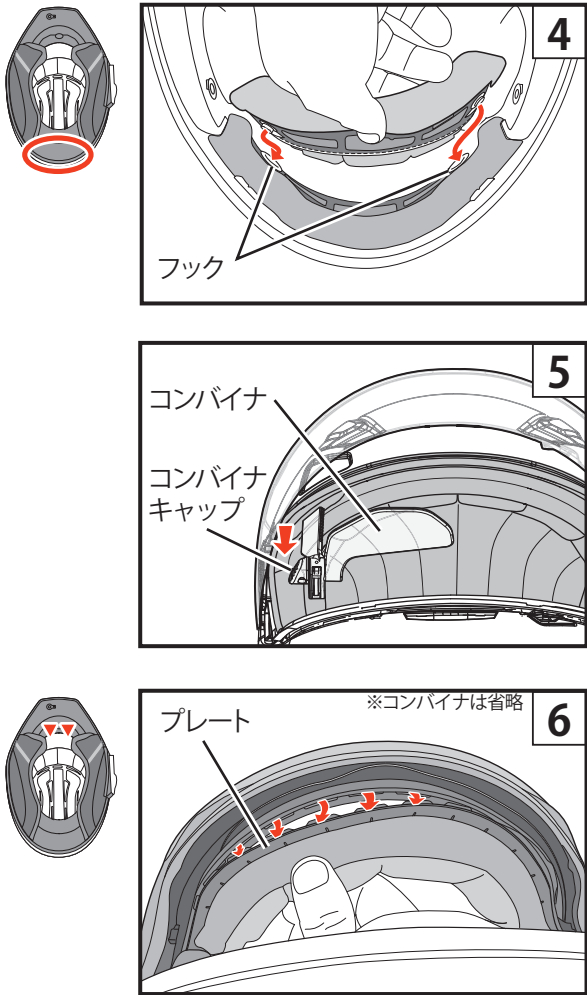
6.3.2 センターパッドの取り外し

注 記

センターパッドのプレートを取り外す際は、プレートがコンバイナに当たらないように注意してください。コンバイナに傷が付くおそれがあります。

センターパッドは後頭部側から取り外します。

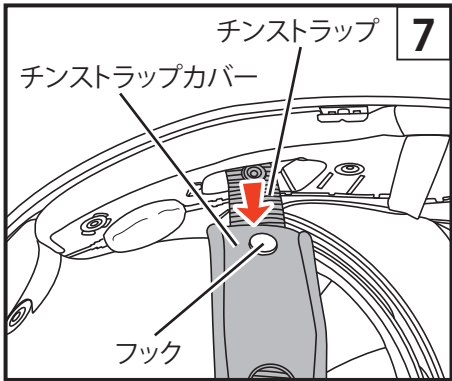
- 1 後頭部側のフックを2カ所外します(図4)。
- 2 前頭部側は、はじめにコンバイナキャップを持ち、コンバイナを引き下げます(図5)。
- 3 図6のようにプレートの近くを持ち、センターから引きはがすようにしてセンターパッドを取り外します。



6.3.3 チンストラップカバーの取り外し

チンストラップカバーを取り外す際は、先にチークパッドを取り外す必要があります。手順については、「6.3.1 チークパッドの取り外し」を参照してください。

- 1 チンストラップカバーのフックを外し、チンストラップから引き抜きます(図7)。
- 2 反対側も同じ手順で取り外します。

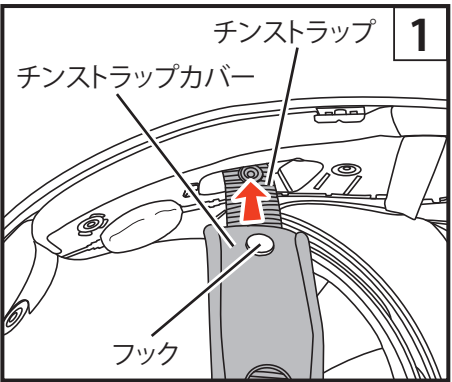


6.4 内装の取り付け方

6.4.1 チンストラップカバーの取り付け

チンストラップカバーは左右共通です。

- 1 チンストラップカバーをチンストラップに通し、カチッと音がするまでフックをはめ込みます(図1)。

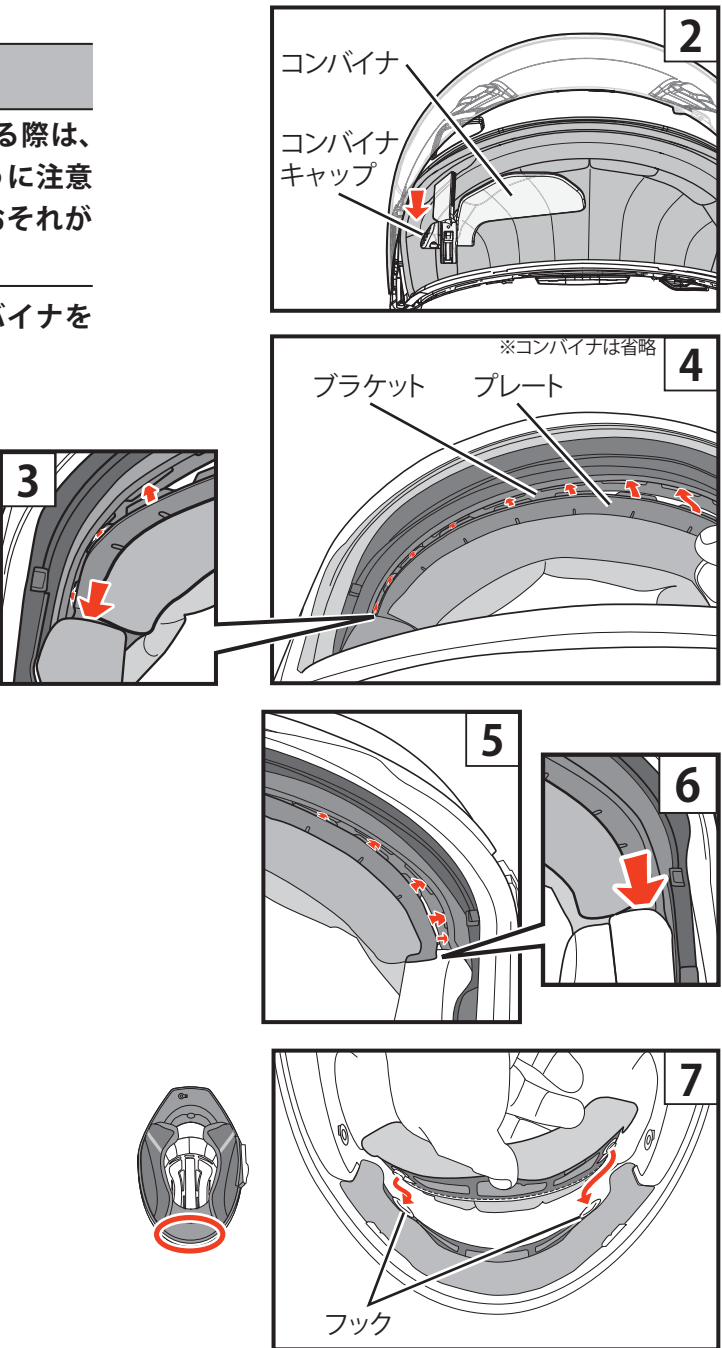


6.4.2 センターパッドの取り付け

注 記

センターパッドのプレートを取り付ける際は、プレートがコンバイナに当たらないように注意してください。コンバイナに傷が付くおそれがあります。

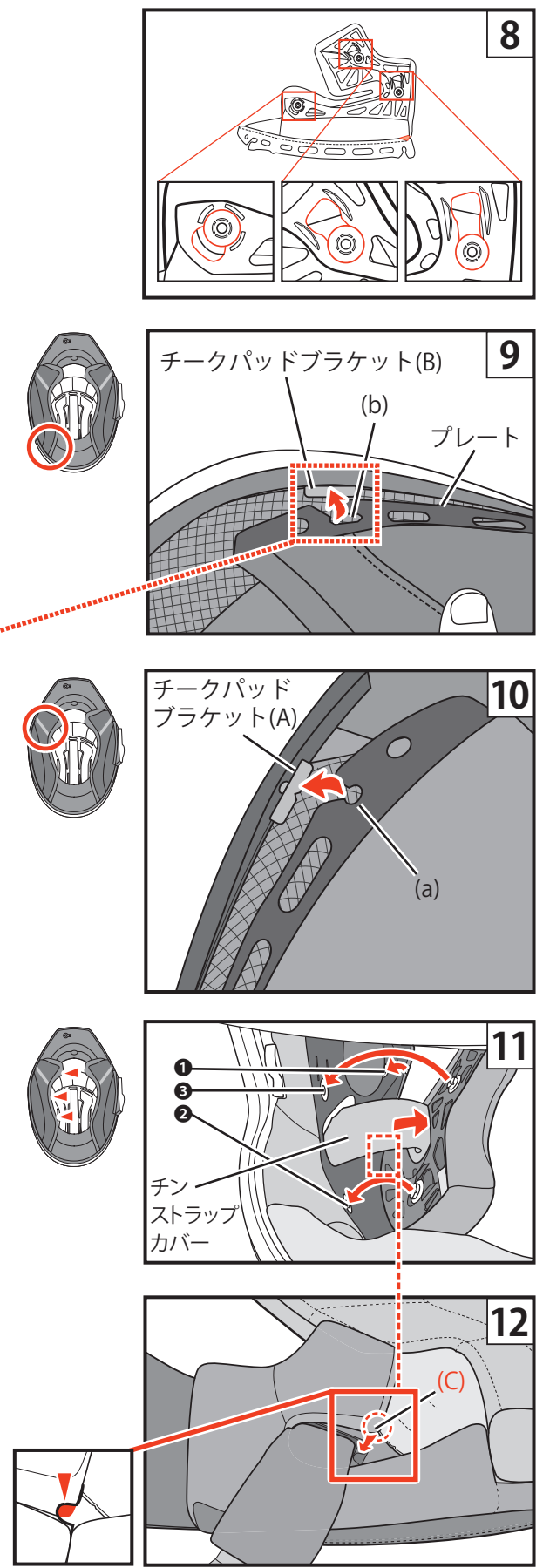
- 1 コンバイナキャップを持ち、コンバイナを引き下げます(図2)。
- 2 前頭部側のプレートの端をブラケットに合わせ(図3)、隙間に合わせて取り付けます(図4～6)。
- 3 後頭部側の2カ所のフックを、カチッと音がするまではめ込みます(図7)。



6.4.3 チークパッドの取り付け

チークパッドを取り付ける前に、3カ所のフックが図8の位置にあることを確認してください。正しい位置でない場合、フックがはまらないことがあります。

- 1 取り付け前に、チークパッドの左右を確認してください。
- 2 後端部のプレートの溝 (b) をチークパッドブラケット (B) のボスに差し込み (図9)、プレートを後方へスライドさせます。
- 3 プレート後端から前方に向かって差し込んでいき、プレートの溝 (a) をチークブラケット (A) のボスに差し込みます (図10)。このとき、図9のようにプレート後端部が奥までしっかりスライドしていないと、溝 (a) がボスにはまりませんので注意してください。
- 4 プレートを差し込んだ後は、図11のようにチンストラップをチークパッドのくぼみに通し、①→②の順にフックをはめ込みます。
- 5 パッドの角部分 (C) をチークパッドベースの突起部にはめ込んでから (図12)、最後に③のフックをはめ込みます。フックは、パッド側からフックの上部分を強く押し、カチッと音がするまではめ込んでください。
- 6 反対側も同じ手順で取り付けます。



7 E.Q.R.S. (Emergency Quick Release System)

E.Q.R.S. (エマージェンシー クイック リリース システム) とは、万一の事故の際、ヘルメットからチークパッドを引き抜くことで、救護者がライダーの頸部への負担を最小限に抑えつつ、容易にヘルメットを取り外すことができるシステムです。

緊急時のヘルメットの取り外し手順

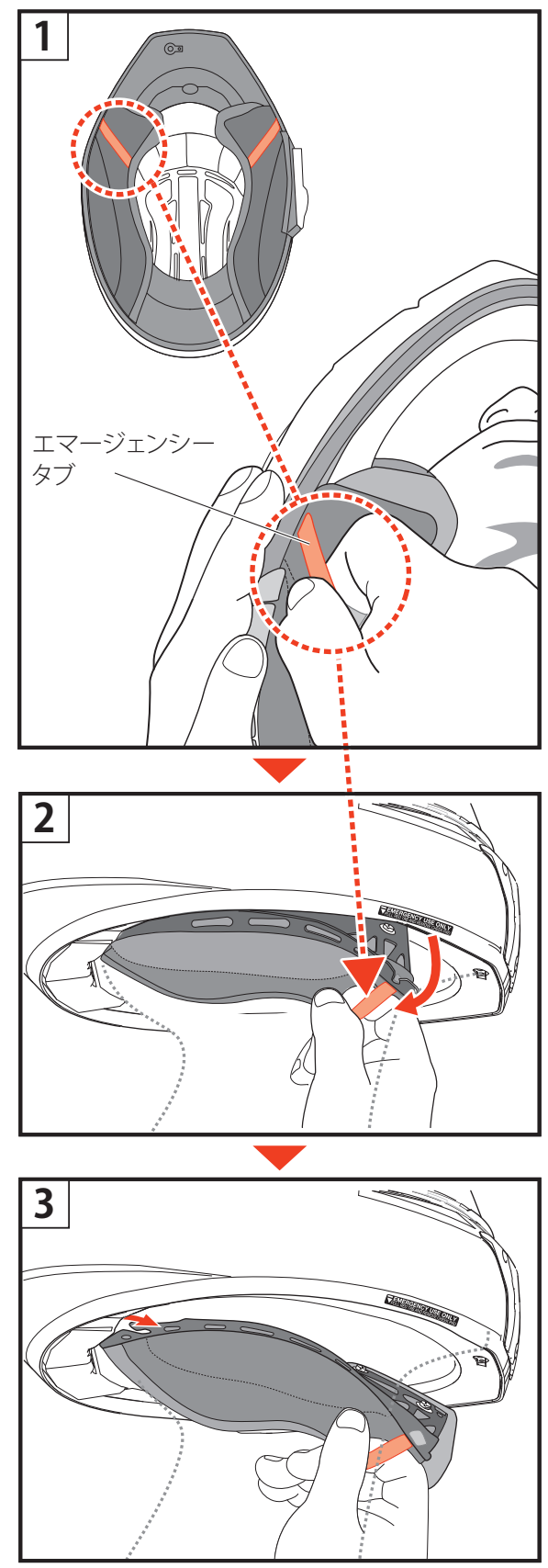
- 1 チンストラップをほどくか、切断し、ライダーの頭部が動かないようにヘルメットを押さえます。
- 2 チンカーテンが装着してある場合は、チンカーテンを取り外します。
手順については、「3 チンカーテン」を参照してください。
- 3 赤色のエマージェンシータブ (図1) を持ち、図2の矢印方向に引っ張ります。
エマージェンシータブを引っ張ることでチークパッドのフックが外れ、ライダーがヘルメットをかぶった状態のまま、ヘルメット下部からパッドを引き抜くことができます。
- 4 反対側も同じ手順で外します。
- 5 チークパッドを引き抜きます。

 **警告**

- ・ 走行中は、絶対に使用しないでください。
- ・ 通常時、メンテナンスなどの目的で本機能を使用しないでください。
- ・ 以下のステッカーを本製品からはがさないでください。

EMERGENCY USE ONLY
PULL RED TAB AND REMOVE CHEEK PAD

重要 ・ 引き抜く際は、必ず片方の手でヘルメットをしっかりを押さえ、ライダーの頭部を動かさないよう注意してください。
・ 必ず専用のチークパッドを使用してください。専用の部品以外を取り付けたりしないでください。
・ ヘルメットにチンカーテンが装着してある場合は、必ずチンカーテンを取り外してから、エマージェンシータブを操作してください。



8 パーツリスト

修理や交換用として、以下のオプションパーツをお求めいただけます。
パーツ交換の際は、同梱されている取扱説明書を参照してください。

- CNS-1 シールド
- CNS-1 シールドベースセット 2
- Q.R.S.A. スクリュー
- 防曇シート（SHOEI DRYLENS 301/PINLOCK® EVO lens DKS301）
- チンカーテン DL
- TYPE-N センターパッド
- OPTICSON チークパッド（左右）
- チンストラップカバー N
- OPTICSON バッテリー
- OPTICSON バッテリーコード
- OPTICSON AC アダプター

HUD 編
目次

1 仕様.....33

2 各部の名称.....34

2.1 コンバイナ.....34

2.2 スイッチモジュール.....35

3 使用の準備.....36

3.1 スマートフォンの準備.....36

3.2 バッテリーの接続.....37

3.2.1 バッテリーの接続方法.....37

3.3 コンバイナの位置調整.....38

3.4 スマートフォンとのペアリング.....40

3.4.1 スマートフォンとの Bluetooth ペアリング.....40

3.4.2 Bluetooth LE 接続.....40

3.4.3 Bluetooth LE の再接続.....41

3.5 HUD 画面表示設定.....41

3.6 音声の出力設定.....42

3.7 ペアリングを解除、削除する場合.....42

4 使用.....43

4.1 HUD の基本操作.....43

4.1.1 電源 ON（ペアリング済み）.....43

4.1.2 電源 OFF.....43

4.1.3 バッテリーの取り外し.....44

4.1.4 バッテリーコードの取り外し.....44

4.1.5 音量操作.....45

4.2 HUD の表示切り替え.....46

4.2.1 HUD の表示アイコンと情報.....46

4.2.2 ナビゲーション情報の表示.....48

4.2.3 Information エリアの表示切り替え.....49

4.2.4 HUD 画面の非表示.....51

4.2.5 音声アシスタント.....51

4.3 電話操作.....53

4.4 エラー表示の内容と対処方法.....55

4.5 ツーリングサポーターの操作方法.....55

5 メンテナンス.....56

5.1 コンバイナのメンテナンス.....56

5.2 HUD モジュール／スイッチモジュールのメンテナンス.....57

5.3 カバーガラスのメンテナンス.....57

5.4 調光センサーのメンテナンス.....58

5.5 スピーカーカバーの再取り付け.....59

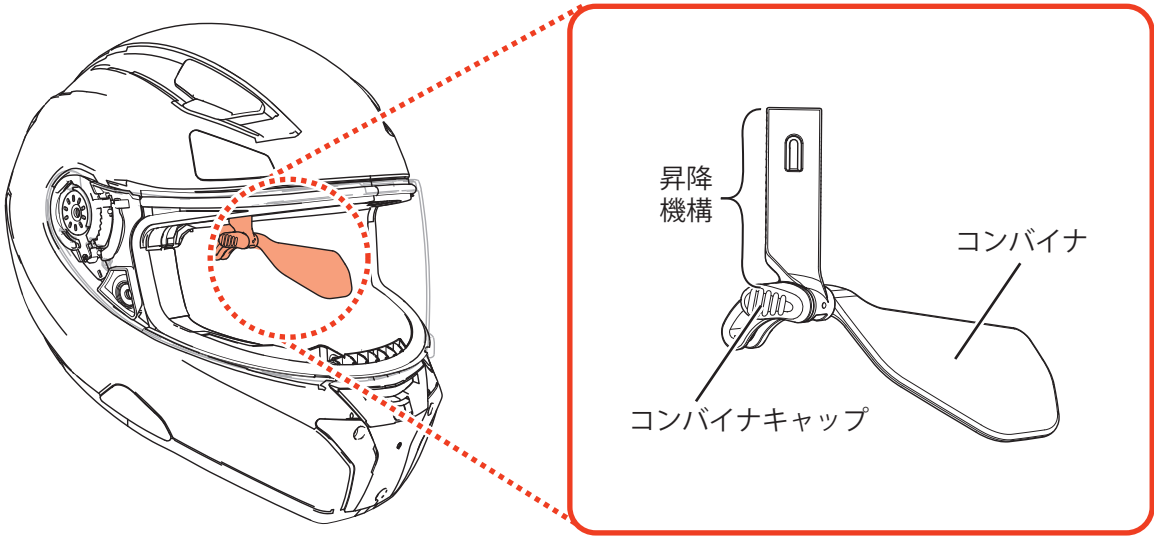
1 仕様

項目		仕様
全体仕様	HUD 画面 表示距離	9 m（設計値）
	HUD 画面 表示見下ろし角	8°（設計値）
	推奨使用温度範囲	0℃～+ 40℃（気温）
	連続使用稼働時間	約 6 時間
通信仕様	規格	Bluetooth 4.2+BLE
	距離	10 m（クラス II）
	プロファイル	BLE / A2DP / HFP
バッテリー仕様	タイプ	リン酸鉄リチウムイオンバッテリー
	充電時間	約 3 時間（参考値）
	電池容量	3,000 mAh
	充電方法	専用 AC アダプターを使用
	入力電圧	5 V / 1.5 A
	出力電圧	定格 3.2 V
	保存環境温度	－ 20℃～+ 60℃
	使用環境温度	0℃～+ 40℃
	給電方法	防水性コネクタ

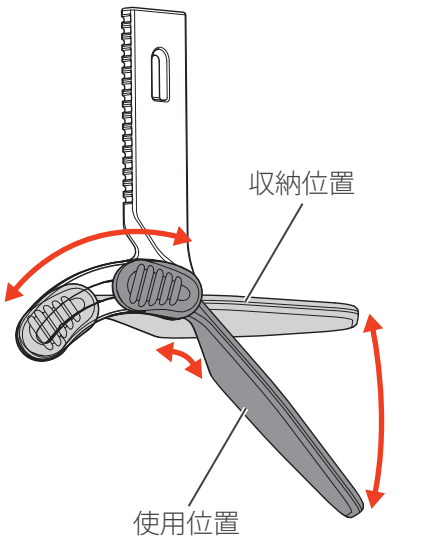
2 各部の名称

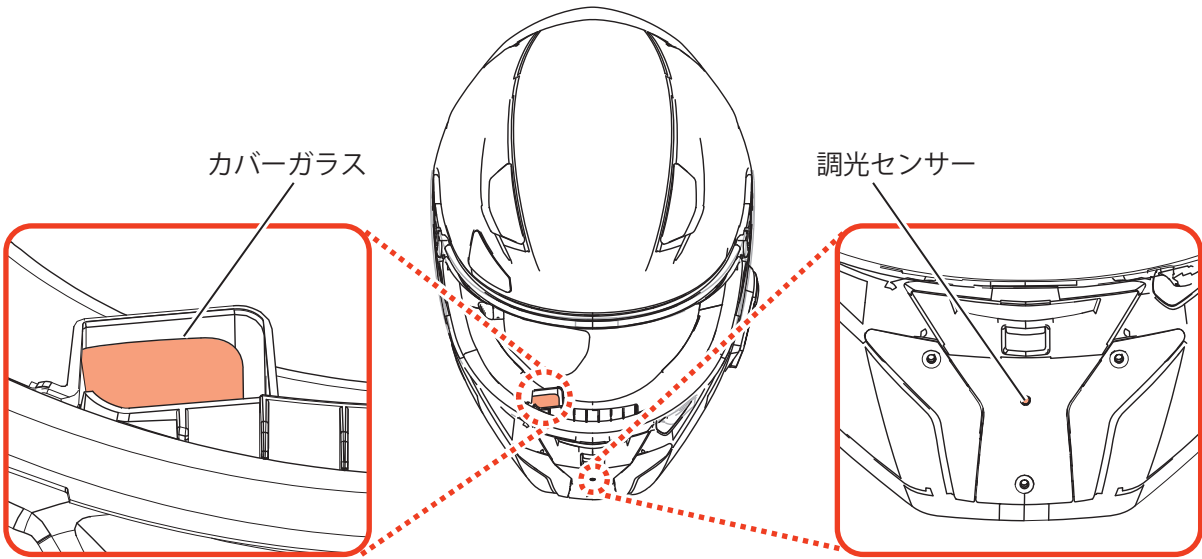
2.1 コンバイナ

HUD モジュールのカバーガラスを通して、コンバイナにスマートフォン向けナビゲーションアプリの道案内などの情報が投影されます。走行環境に応じて、調光センサーが HUD 画面の明るさを自動で調整します。



コンバイナは、図のようにレール上を動かすことができます。
コンバイナを使用する時は「使用位置」、使用しない時は「収納位置」にしてください。
収納位置にした状態で、コンバイナの高さを一番上にする事で、コンバイナを収納した状態になります。
コンバイナは、昇降機構やレールのアジャストスクリューを調整することで、HUD 画面の表示位置を調整することができます。調整方法については、「3.3 コンバイナの位置調整」を参照してください。

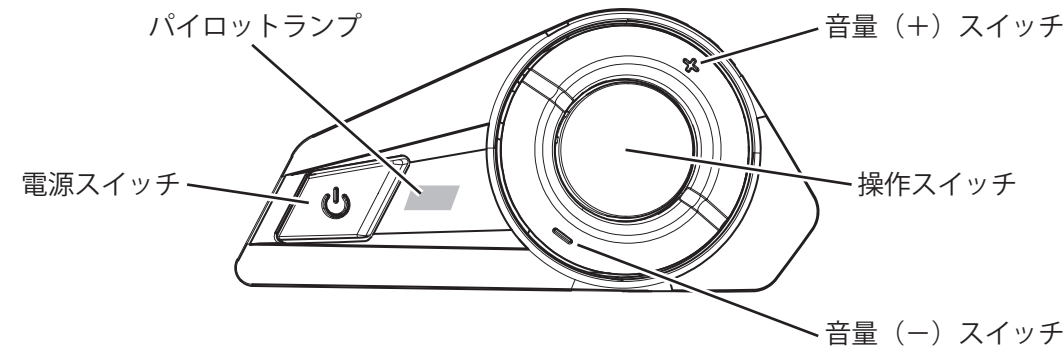




HUD 画面 (例)



2.2 スイッチモジュール



3 使用の準備

警告

運転中に携帯電話を操作することは大変危険であり、法律で禁止されています。走行中の操作は絶対に行わないでください。携帯電話の操作が必要な場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

3.1 スマートフォンの準備

HUD の道案内機能を使用するには、スマートフォン向けナビゲーションアプリ「ツーリングサポーター」のダウンロードが必要です。
ダウンロード前に、スマートフォンを以下のように設定してください。
重要 各機能の名称は、スマートフォンによって異なります。また、スマートフォンによっては、機能が存在しない場合があります。設定方法の詳細は、お使いのスマートフォンの取扱説明書を参照してください。

- Bluetooth : ON
- Bluetooth 接続設定「HD オーディオ」: OFF
- バッテリー節約機能 (低電力モード/バッテリーセーバー/省電力モード/エコモード): OFF
- 位置情報機能: ON
- 位置情報精度設定 (位置情報モード): 高精度

重要 ・スマートフォンのバッテリー節約機能が ON に設定されていると、ツーリングサポーターの情報が表示されません。必ず OFF にしてください。
・スマートフォンの Bluetooth 接続設定の「HD オーディオ」機能は OFF にして使用してください。高解像度 (HD) オーディオコーデックを使用すると、本製品のスピーカーから、音声は正常に出力されません。

ツーリングサポーター

Google Play
(Android 搭載スマートフォン)



App Store
(iPhone)



重要 HUD の道案内機能を利用するには、株式会社ナビタイムジャパンが提供するツーリングサポーターの有料会員登録 (プレミアムプラス*) が必要です。
* ツーリングサポーターの会員は、無料会員/プレミアム会員 (有料)/プレミアムプラス会員 (有料) の 3 段階があり、本機能を使用するには、プレミアムプラス会員の登録が必要です。無料会員、プレミアム会員では、本機能は使用できません。

3.2 バッテリーの接続

本製品で HUD 画面を表示するには、専用のバッテリーを接続する必要があります。
ご使用になる前に、バッテリーは必ず充電してください。充電方法やバッテリーの取り扱い方法については、バッテリーに同梱の取扱説明書を参照してください。

警告

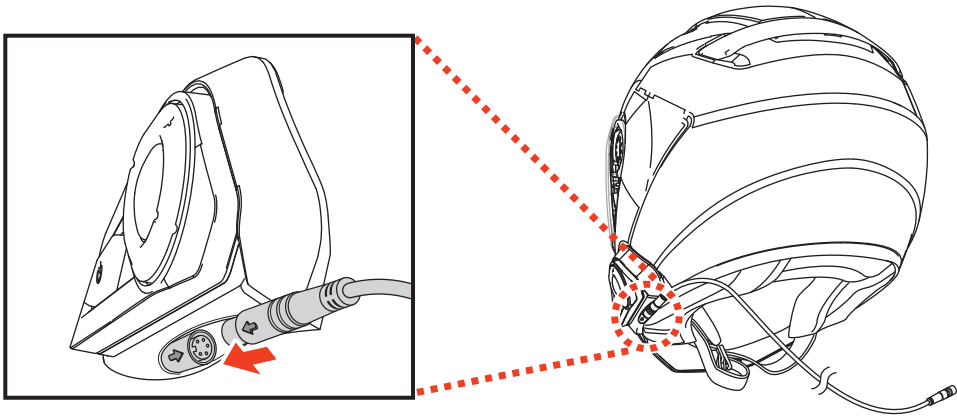
バッテリーは、事前に「バッテリーに関する注意事項」をよく読み、理解して取り扱ってください。

3.2.1 バッテリーの接続方法

1 バッテリーコードの黄色のコネクタを、ヘルメットのスイッチモジュールのバッテリーコネクタに接続します。

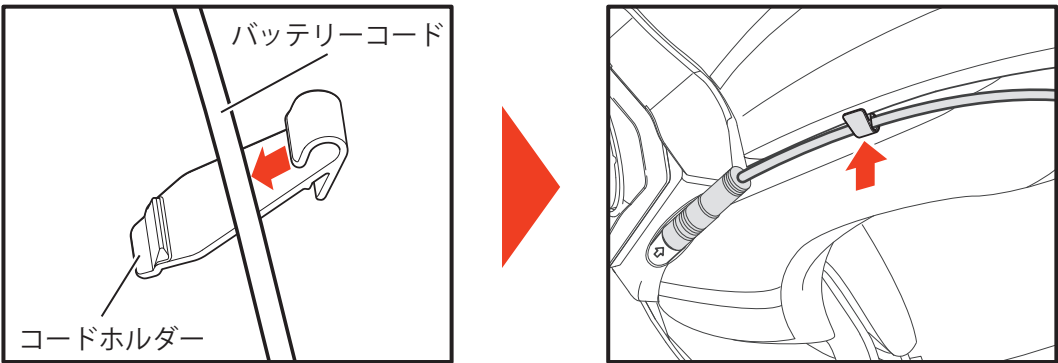
バッテリーコネクタの矢印同士が合うように接続してください。

重要 バッテリーコネクタは、ヘルメット側が黄色、バッテリー側が黒色です。同じ色のコネクタ同士を接続してください。



2 バッテリーコードにコードホルダーを取り付け、コードホルダーをヘルメット後頭部付近のシェルと衝撃吸収ライナーの間に差し込みます。

本製品使用時に、バッテリーコネクタが緩まないように、コードホルダーでバッテリーコードを固定してください。



重要 コードホルダーは、バッテリーコネクタから 5cm 以内のところに付けてください。

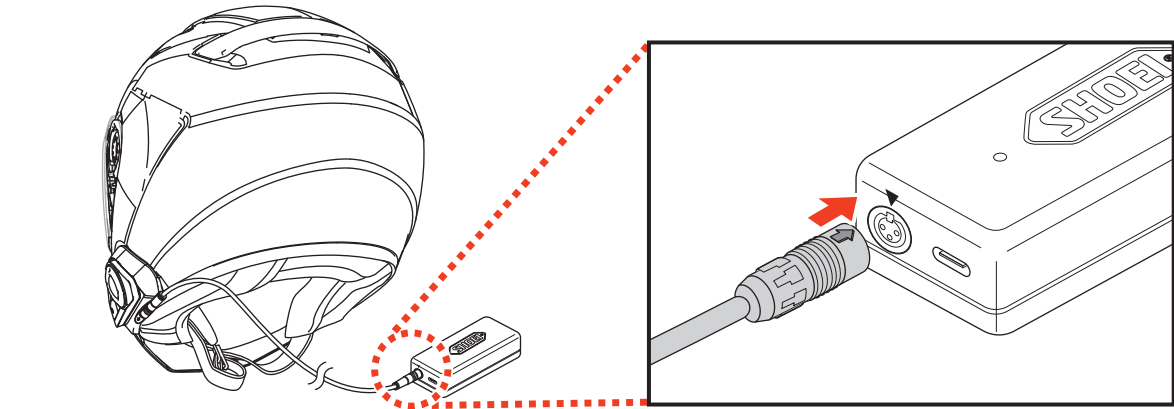
3 本製品を被ります。

警告

あごひもを締める際は、バッテリーコードが絡まないようにしてください。

4 バッテリーコードの黒色のコネクタを、バッテリーのバッテリーコネクタに接続します。

バッテリーコードのコネクタの矢印とバッテリーのコネクタの刻印（▼マーク）が合うように接続してください。



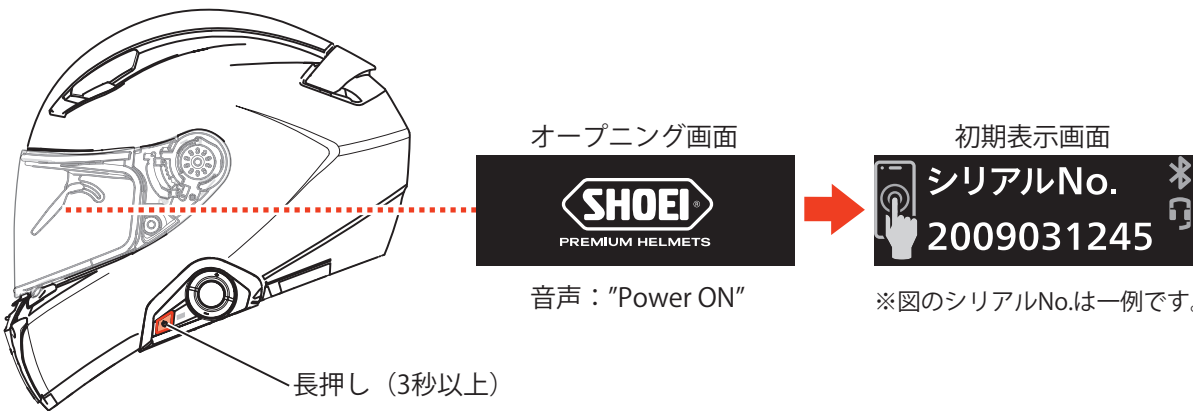
注記

ヘルメット着脱時は、バッテリーとバッテリーコードを、本製品から取り外した状態で行ってください。取り外さずにヘルメットを着脱すると、バッテリーコードが腕などに引っかかり、バッテリーコネクタの破損の原因となることがあります。

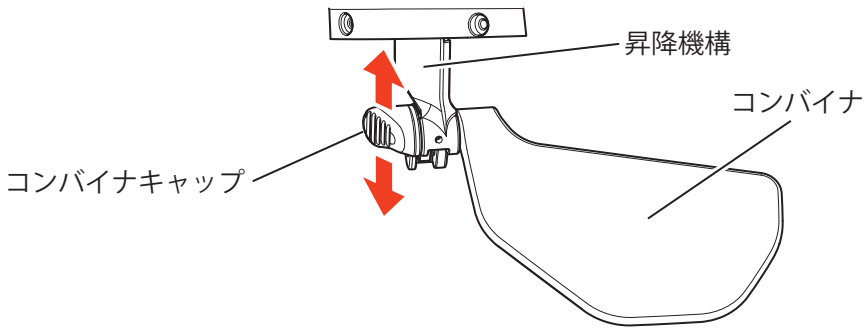
3.3 コンバイナの位置調整

本製品をかぶった際に HUD 画面がはっきりと見えるように、コンバイナの使用位置を調整します。HUD 画面の表示が、にじんで見えたり、一部見えなかったりすることがなく、画面全体がクリアに見えるようにします。

本製品を被り、電源スイッチを 3 秒以上長押しし、HUD 画面の表示を確認しながらコンバイナの位置を調整してください。



コンバイナは、コンバイナキャップを持ち、上下に動かすことで HUD 画面の表示位置の高さを調整できます。

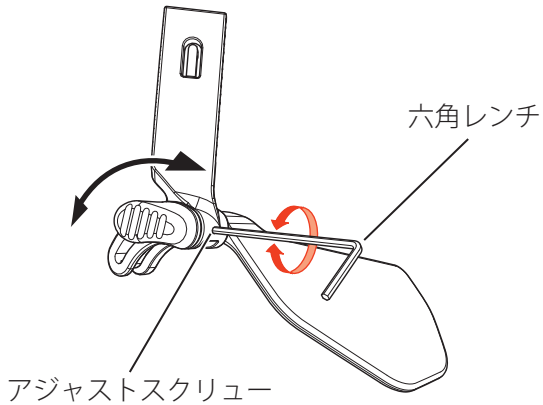


メモ コンバイナは、昇降機構の下限位置よりも下に引っ張ると、外れるのでご注意ください。

コンバイナの角度を調整する場合は、コンバイナキャップをレール上で動かして固定したい位置を決定し、六角レンチ（サイズ：1.5mm）でアジャストスクリューを回して、コンバイナの固定位置を調整します。

アジャストスクリューは、時計回りで奥に、反時計回りで手前に移動します。

コンバイナキャップとアジャストスクリューが接触する位置が、コンバイナの使用位置になるように、コンバイナの角度を調整してください。



メモ ・コンバイナの HUD 画面の表示位置を左右に調整したい場合は、お買い求めの販売店にて対応いたします。

・アジャストスクリューを回しすぎると抜ける可能性がありますので、ご注意ください。

注 記

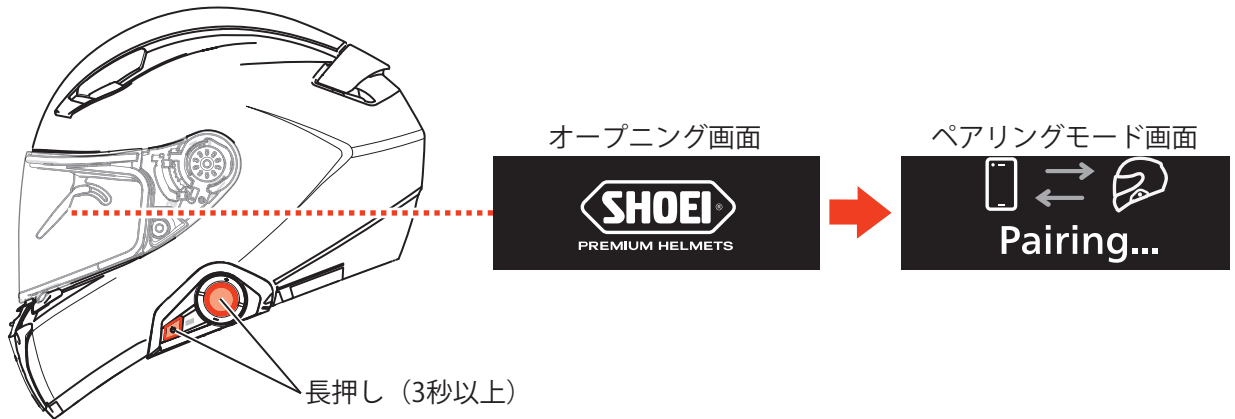
コンバイナの角度調整時、工具などがコンバイナに接触すると、コンバイナに傷が付くおそれがあります。調整時にご注意ください。

3.4 スマートフォンとのペアリング

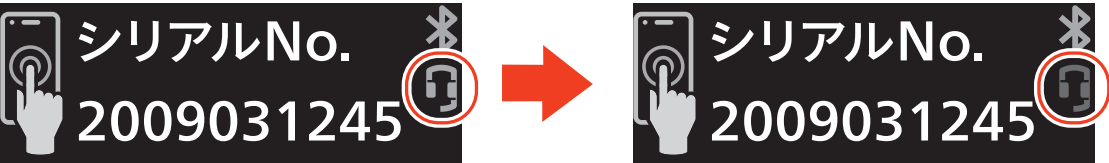
本製品の HUD と、スマートフォン・ツーリングサポーターを接続します。

3.4.1 スマートフォンとの Bluetooth ペアリング

- 1** 本製品をかぶり、電源スイッチと操作スイッチを、同時に 3 秒以上長押しします。
- HUD のコンバイナにオープニング画面が表示された後、ペアリングモード画面が表示されます。このとき、パイロットランプが約 1 秒間隔（ON 0.5 秒 / OFF 1 秒）で点滅します。



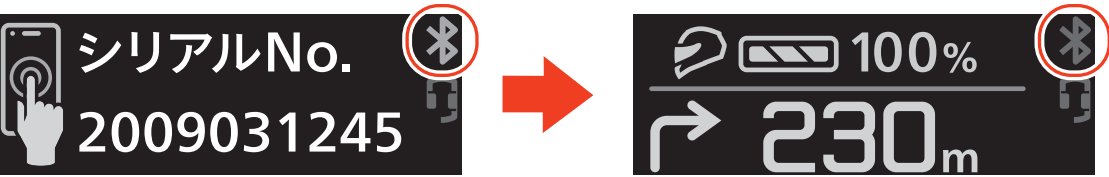
- 2** スマートフォンの Bluetooth 設定画面の、接続するデバイスから「OPTICSON」を選択し、本製品とスマートフォンをペアリングします。
- 3** ペアリング完了後、HUD 画面の Bluetooth 接続表示のアイコンが赤から白へ変わります。



メモ 本製品のペアリングモード画面の表示から、180 秒以内にペアリングしてください。180 秒経過後、ペアリングが完了しない場合は、自動的に HUD の電源が OFF になります。

3.4.2 Bluetooth LE 接続

- 1** スマートフォンのツーリングサポーターを起動します。ツーリングサポーターの設定画面を開き、HUD 画面に表示されているシリアル番号を入力して、「設定」ボタンを押します。
- 2** 入力したシリアル番号に問題がなかった場合、Bluetooth LE 接続が開始されます。
- Bluetooth LE 接続が完了すると、HUD 画面の Bluetooth LE 接続表示のアイコンが、赤から白へ変わります。



メモ ・シリアル番号の入力は、初回の接続時のみの操作です。2 回目以降は、自動で接続されます。

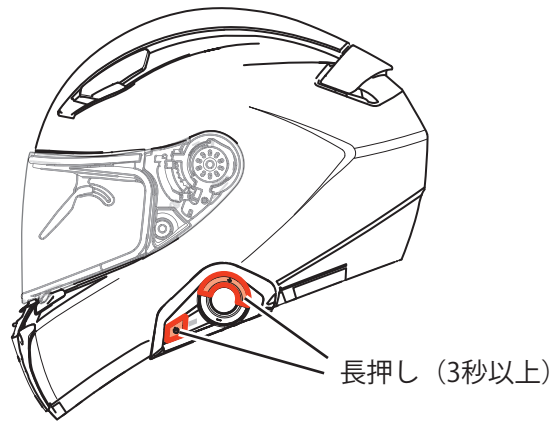
・シリアル番号は本製品の個体ごとに異なる番号のため、別の OPTICSON を動作させたい場合は、対象のシリアル番号を入力しなおしてください。

・シリアル番号は、本製品の HUD モジュールの内側にあるステッカーでも確認できます。

3.4.3 Bluetooth LE の再接続

スマートフォンとの Bluetooth LE 接続が不安定な場合、Bluetooth LE を再接続することによって、改善することがあります。

電源スイッチと音量（+）スイッチを 3 秒以上長押しすると、スマートフォンとの Bluetooth LE を再接続します。



重要 ・再接続には 20 秒程度かかります。

・操作後、20 秒程度経過しても Bluetooth LE 接続が不安定な場合は、何度かこの手順を繰り返し行ってください。

3.5 HUD 画面表示設定

ツーリングサポーターから、HUD 画面の表示に関する設定が可能です。設定方法の詳細については、「<https://static.cld.navitime.jp/smartstorage/moto/opticson/info.html>」を参照してください。

No.	設定項目	設定内容
1	明るさレベル調整	HUD 画面の明るさを 5 段階で設定できます。 初期値：3
2	ヘルメットシールド設定	本製品に現在装着しているシールドのカラーに合わせて設定します。 「クリア」、「スモーク」から選択します。 設定によって、HUD 画面の明るさが変わります。 初期値：クリア
3	ディスプレイ表示角度設定	HUD 画面の表示角度を設定できます。 「左 +2」、「左 +1」、「標準」、「右 +1」、「右 +2」から選択します。 HUD 画面の表示角度（傾き）が変わります。 初期値：標準
4	ディスプレイ表示継続時間	HUD 画面の表示継続時間を設定できます。 「常時」、「中」、「小」から選択します。 常時：常に HUD 画面が表示されます。 中：ツーリングサポーターの案内時のみ表示されます。 （表示時間：15 秒） 小：ツーリングサポーターの案内時のみ表示されます。 （表示時間：10 秒） 初期値：常時

メモ ディスプレイ表示継続時間を「中」や「小」にすることで、バッテリー消費を抑えることができます。

重要 ヘルメットシールド設定は、装着したシールドのカラーに合わせて設定してください。設定が合っていないと、HUD 画面の表示が明る過ぎて目がくらむ場合があります。

3.6 音声の出力設定

スマートフォンの通話音声や、音楽を本製品で聞く場合は、スマートフォンの設定が必要です。

- 1 スマートフォンの Bluetooth 設定画面を開きます。
- 2 Bluetooth ペアリング中のデバイスの一覧から、「OPTICSON」の詳細設定画面を開き、電話の音声と、メディアの音声を ON に設定します。

重要 設定方法は、スマートフォンによって異なります。また、スマートフォンによっては、機能が存在しない場合があります。設定方法の詳細は、お使いのスマートフォンの取扱説明書を参照してください。

警告

- ・本製品のスピーカーを大音量にした状態での運転は大変危険です。運転に必要な周囲の音が聞き取りにくくなり、重大な事故の原因になります。
- ・本製品のスピーカーの音量は、周囲の音が優先して確認できる範囲で設定してください。スピーカーの音声に集中すると、運転意識の低下につながり、重大な事故の原因になります。

注意

本製品のスピーカーの音量は、耳に負担をかけない範囲で設定してください。突然の大音量や、大音量を長時間続けて聞くと、鼓膜の損傷や聴力を損なうおそれがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

3.7 ペアリングを解除、削除する場合

本製品の HUD と、ペアリングしたスマートフォンとのペアリングを、解除または削除します。

- 1 本製品とのペアリングを解除するスマートフォンの、Bluetooth 設定画面を開きます。
- 2 Bluetooth ペアリング中のデバイスの一覧から、「OPTICSON」の詳細設定画面を開き、ペアリングの解除を設定します。
- 3 Bluetooth 設定画面のデバイスの一覧から「OPTICSON」の表示が消えていることを確認してください。

再度ペアリングする場合は、「3.4 スマートフォンとのペアリング」を参照してください。

重要 設定方法は、スマートフォンによって異なります。また、スマートフォンによっては、機能が存在しない場合があります。設定方法の詳細は、お使いのスマートフォンの取扱説明書を参照してください。

4 使用

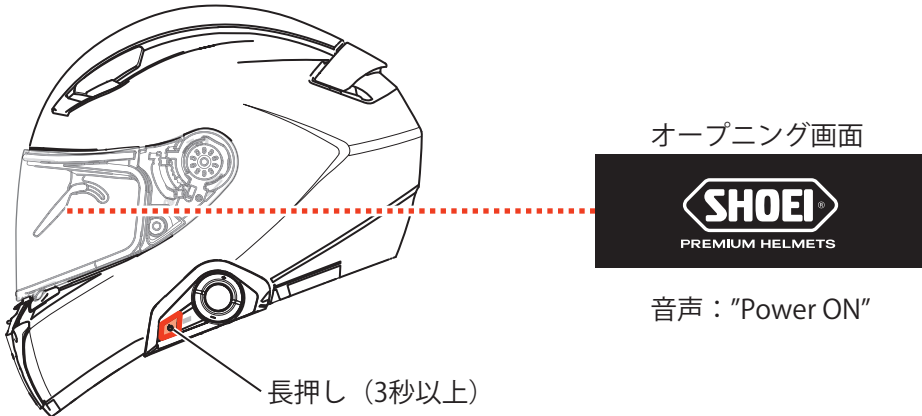
警告

運転中に携帯電話を操作することは大変危険であり、法律で禁止されています。走行中の操作は絶対に行わないでください。携帯電話の操作が必要な場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

4.1 HUD の基本操作

4.1.1 電源 ON (ペアリング済み)

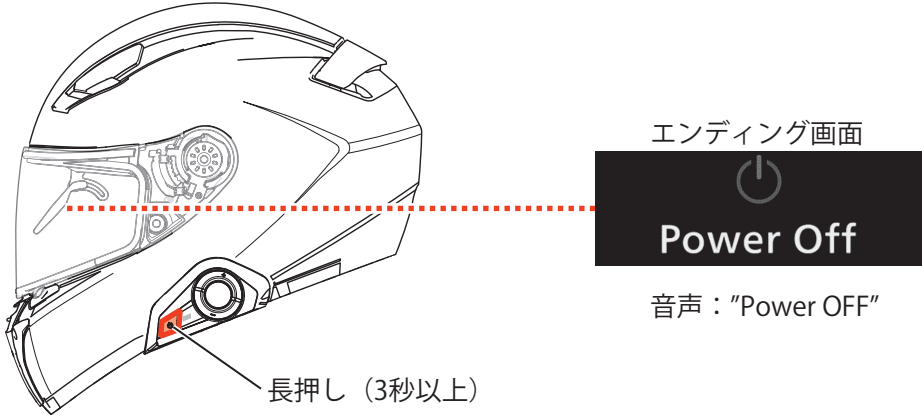
HUD の電源が OFF の状態で、電源スイッチを 3 秒以上長押しすると、HUD の電源が ON になります。オープニング画面が表示され、音声がかかります。



HUD の電源が ON になっているときは、パイロットランプが約 3 秒間隔 (ON0.5 秒 / OFF3 秒) で点滅します。
電源が ON になったとき、前回接続したスマートフォンの Bluetooth 設定が ON の状態で、前回接続したツーリングサポーターが起動している状態の場合、それぞれ自動的に接続されます。自動的に接続されない場合は、スマートフォンとの Bluetooth ペアリングを再設定してください。また、ツーリングサポーターは再起動してください。

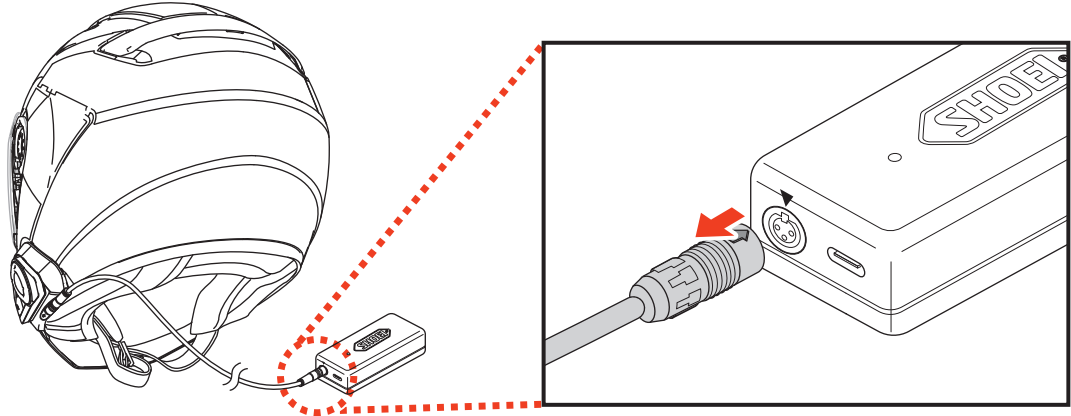
4.1.2 電源 OFF

HUD の電源が ON の状態で、電源スイッチを 3 秒以上長押しすると、HUD の電源が OFF になります。HUD にエンディング画面が表示され、パイロットランプが消灯します。
電源が OFF になると、スマートフォンとの Bluetooth 接続が自動的に切断されます。



4.1.3 バッテリーの取り外し

バッテリーから、バッテリーコードを取り外します。



注意

本製品の使用後は、必ずバッテリーを本製品から取り外して保管してください。

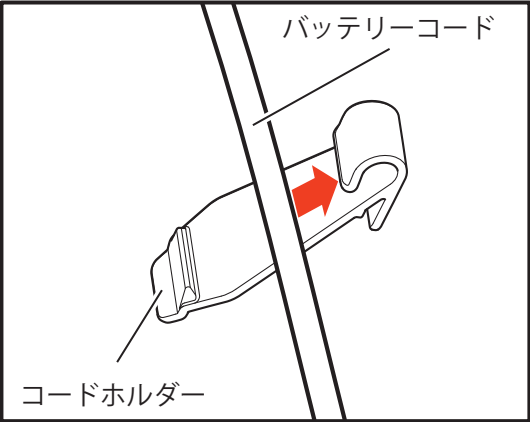
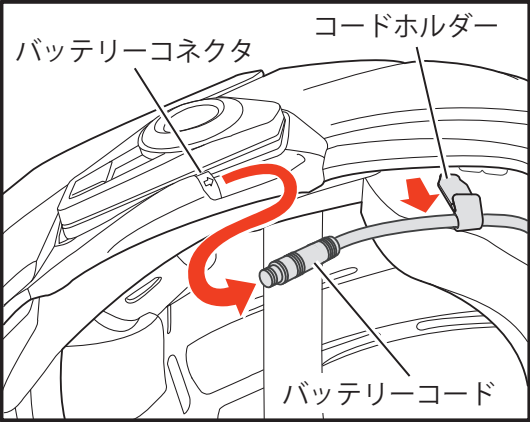
注記

ヘルメットの着脱は、バッテリーを本製品から取り外した状態で行ってください。取り外さずにヘルメットを着脱すると、バッテリーコードが腕などに引っ掛かり、バッテリーコネクタの破損の原因となることがあります。

4.1.4 バッテリーコードの取り外し

本製品からバッテリーコードとコードホルダーを取り外す際は、先にチークパッド（左）を取り外す必要があります。手順については、「6.3.1 チークパッドの取り外し」を参照してください。

- 1 シェルと衝撃吸収ライナーの間からコードホルダーを抜き、バッテリーコードをバッテリーコネクタから取り外します。
- 2 バッテリーコードから、コードホルダーを取り外します。

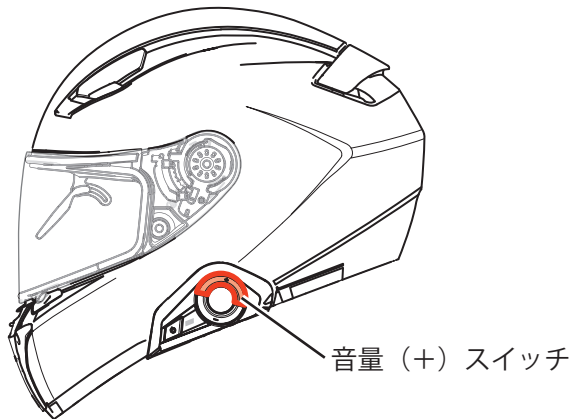


4.1.5 音量操作

本製品のスピーカーの音量を調節します。

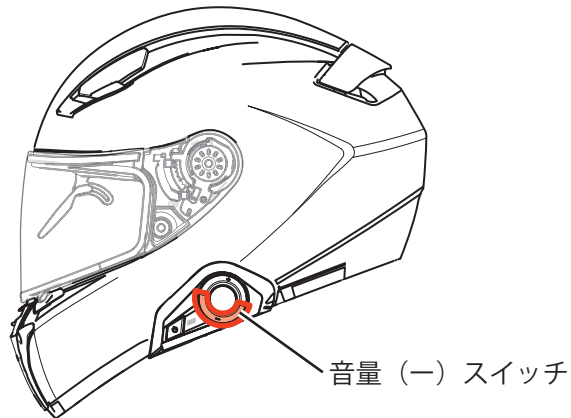
音量アップ

- 音量 1 段階アップ：音量（+）スイッチを短押し
- 音量連続アップ：音量（+）スイッチを長押し



音量ダウン

- 音量 1 段階ダウン：音量（-）スイッチを短押し
- 音量連続ダウン：音量（-）スイッチ長押し



HUD の音声再生状況により、以下のように音量を調整できます。

HUD 音声再生状況	音量調整種別
電話不使用、音声再生無（ルート案内や音楽など）	再生音量
電話使用中（着信、発信、通話）、音声再生無	電話音量
電話不使用、音声再生有	再生音量
電話着信中、音声再生有	音量調整不可

4.2 HUD の表示切り替え

Bluetooth LE 接続（ツーリングサポーターとの接続）をすることで、ナビゲーション情報や時計などを HUD 画面に表示することができます。



Bluetooth LE 接続の設定については、「3.4.2 Bluetooth LE 接続」を参照してください。

重要 スマートフォンのバッテリー節約機能が ON に設定されていると、ツーリングサポーターの情報が表示されません。必ず OFF にしてください。

4.2.1 HUD の表示アイコンと情報

HUD には、各位置に、様々な情報を意味するアイコンが表示されます。

重要 HUD に異常が発生した場合のエラー画面については、「4.4 エラー表示の内容と対処方法」を参照してください。

通常表示例



割り込み表示例



①矢印・場所表示アイコンと情報

進行方向を示す矢印アイコン、もしくは各場所を示すアイコンと情報です。

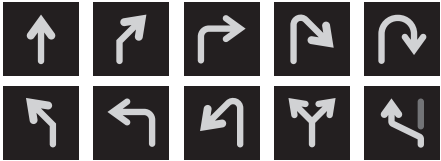
各アイコンと情報は、色や点灯・点滅、距離表示の有無によって、以下の意味を示します。

アイコン表示例	距離表示	表示内容
青点灯 	あり	アイコンの示す場所までの残りの距離が、201m 以上の場合に表示されます。
青点滅 	あり	アイコンの示す場所までの残りの距離が、151m ～ 200m の場合に表示されます。
青点滅 	なし	アイコンの示す場所までの残りの距離が、71m ～ 150m の場合に表示されます。

アイコン 表示例	距離 表示	表示内容
橙点灯 	なし	アイコンの示す場所までの残りの距離が、70m 以内の場合に表示されます。

重要 距離表示は、ナビゲーションアプリの登録地点までの距離になります。曲がり角・交差点などの、アイコンの示す場所の道路が広い場合、距離表示と実際に進行する道路までの距離に差が生じることがありますので、ご注意ください。

各矢印・場所アイコンの意味は、以下の通りです。

アイコン	アイコン内容
	目的の方向を示す矢印アイコンです。
	目的地を示すアイコンです。
	経由地を示すアイコンです。
	インターチェンジの入口、出口を示すアイコンです。
	フェリー乗り場を示すアイコンです。

②割り込み表示アイコンと情報

HUD の通常表示時に、割り込みで表示されるアイコンと情報です。

アイコン・情報	アイコン内容
 昭栄 一郎	着信中であることを示すアイコンです。 アイコンの右側には、着信相手の名前（もしくは着信番号）が表示されます。
 昭栄 一郎	発信中であることを示すアイコンです。 アイコンの右側には、発信相手の名前（もしくは発信番号）が表示されます。
 昭栄 一郎	通話中であることを示すアイコンです。 アイコンの右側には、通話相手の名前（もしくは通話番号）が表示されます。
	通話が終了をしたことを示すアイコンです。 このアイコンの表示後は、通常の道案内表示に戻ります。
 リルート	道案内情報を再検索していることを示すアイコンと情報です。 再検索が終了すると、通常の道案内表示に戻ります。

アイコン・情報	アイコン内容
	目的の方向へ進行するために必要な車線を示すアイコンです。 走行中の道路の車線の数と、次の進行に必要な車線位置を表示します。
	進行予定の道路が、渋滞中であることを示すアイコンです。 アイコンの右側には、渋滞に関する情報が表示されます。
	スイッチモジュールの音量（+）スイッチ、音量（-）スイッチを押した際に、スピーカーの音量が変更されたことを示すアイコンです。
	アイコンの右側には、現在の音量を示すバーと数値が表示されます。 音量が「0」になった場合は、スピーカーが消音になっていることを示すアイコンに変わります。
	HUD のバッテリー残量の低下を示すアイコンです。 アイコンの右側には、現在のバッテリー残量を示すバーと%数値が表示されます。
	ペアリングしているスマートフォンのバッテリー残量の低下を示すアイコンです。 アイコンの右側には、現在のバッテリー残量を示すバーと%数値が表示されます。

③音声アシスタントアイコン

アイコン	アイコン内容
	スマートフォンの音声アシスタント機能が有効となっていることを示すアイコンです。

4.2.2 ナビゲーション情報の表示

ツーリングサポーターの道案内機能を使用する場合、HUD 画面には以下の情報が表示されます。
ツーリングサポーターの道案内機能の操作方法については、アプリ内のサポートページを参照してください。

- ・ナビゲーション表示エリア
次の進行方向と、そこまでの残りの距離が表示されます。
- ・Information 表示エリア
以下の情報が割り込み、または切り替え表示されます。

割り込み表示される情報

情報	表示タイミング
通知情報	BLE/Bluetooth(HFP/A2DP) 切断時に割り込み表示
電話着信	電話着信中に常時表示
電話発信	電話発信中に常時表示
通話	通話開始から 2 秒間表示
終話	終話から 2 秒間表示

情報	表示タイミング
次の次案内表示	次案内地点までの距離が設定値以下となった場合に割り込み表示
交差点名称 / レーンガイダンス	次案内地点までの距離が設定値以下となった場合に割り込み表示
リルート	リルート発生時に割り込み表示
渋滞	渋滞情報を 5 秒間表示
HUD バッテリー残量警告	HUD のバッテリー残量 20% 以下、10% 以下時に警告を 5 秒間表示
スマートフォンバッテリー残量警告	スマートフォンのバッテリー残量 20% 以下、10% 以下時に警告を 5 秒間表示
音量レベル通知	音量変更時に割り込み表示

切り替え表示される情報

情報	表示タイミング
目的地到着推定時間	割り込み表示される情報表示時以外に常時表示
目的地残距離	
経由地到着時刻	
経由地残距離	
次の次案内通知	
交差点名称 / レーンガイダンス	
時計	
HUD 電池残量	
スマートフォン電池残量	

ボタン操作により、上記順番にて切り替え表示できます。

4.2.3 Information エリアの表示切り替え

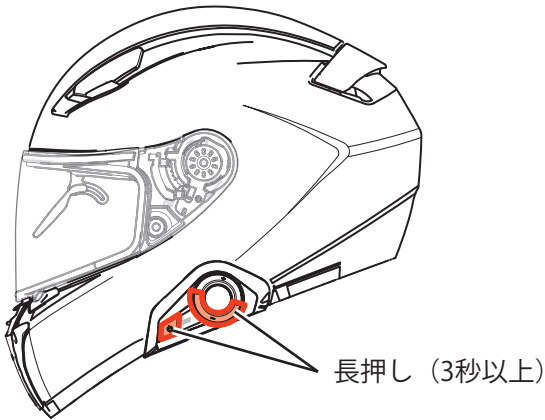
HUD 画面の、Information エリアに表示される情報を切り替えます。



操作スイッチを押すと、Information エリアの表示を、以下の表のように順番に切り替えることができます。



ツーリングサポーターの道案内機能で設定した経由地は、電源スイッチと音量（一）スイッチを 3 秒以上長押しすることで、スキップすることができます。



切り替え表示可能な情報

情報	備考
目的地到着推定時間	ルート案内中のみ表示可能
▼	
目的地残距離	ルート案内中のみ表示可能
▼	
経由地到着時刻	ルート案内中のみ表示可能
▼	
経由地残距離	ルート案内中のみ表示可能
▼	
次の次案内通知	ルート案内中のみ表示可能
▼	
交差点名称 / レーンガイダンス	ルート案内中のみ表示可能
▼	
時計	Bluetooth LE 接続中のみ表示可能
▼	
HUD バッテリー残量	Bluetooth LE 未接続でも表示可能
▼	
スマートフォンバッテリー残量	Bluetooth LE 接続中のみ表示可能

メモ HUD バッテリー残量およびスマートフォンバッテリー残量は、10% 単位で表示され、実際の残量とは誤差が生じる場合があります。

4.2.4 HUD 画面の非表示

HUD 画面を非表示にします。
電源スイッチを押すと、HUD 画面が非表示になります。



HUD 画面を非表示にしても、以下の情報は、都度表示されます。

- 電話着信・発信・通話・終話
- Bluetooth / Bluetooth LE の切断
- 音量（設定変更時）

電源スイッチをもう一度押す、または操作スイッチを押すと、非表示が解除されます。

4.2.5 音声アシスタント

スマートフォンの音声アシスタント機能を起動・終了します。

- Android 搭載スマートフォンの音声アシスタント機能：Google アシスタント
- iPhone の音声アシスタント機能：Siri

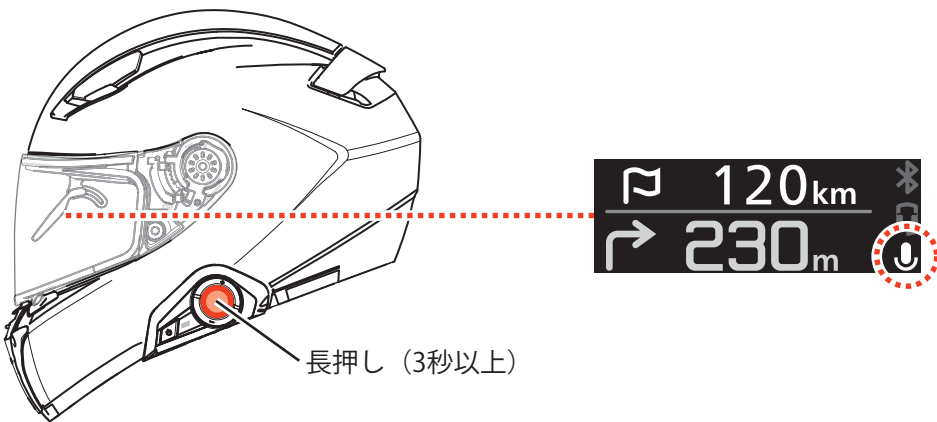
重要 それぞれの音声アシスタント機能の操作方法については、お使いのスマートフォンの取扱説明書や、公式ホームページを参照してください。

注 記

- 電話使用中（着信、発信、通話）は、音声アシスタントが起動できません。
- 音声アシスタント使用中は、Information 表示エリアの表示切り替えができません。
- 音声アシスタント機能は、お使いのスマートフォンによって異なります。

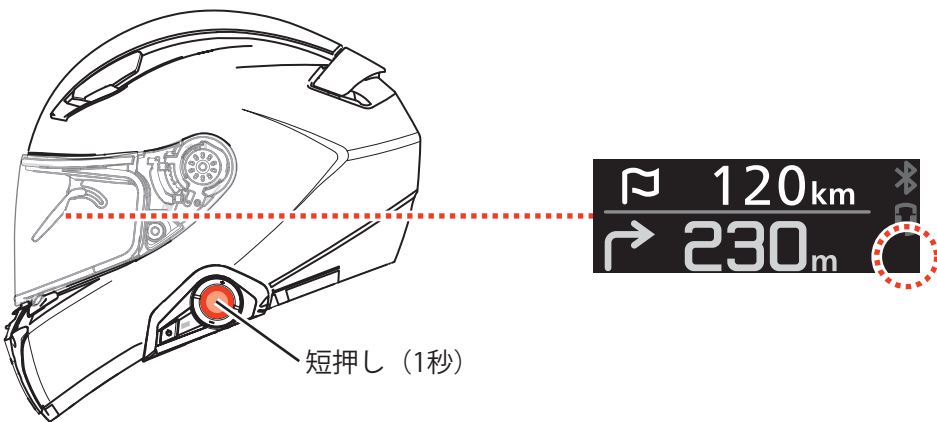
起動

操作スイッチを 3 秒以上長押しすると、音声アシスタントが起動します。
音声アシスタントが起動すると、HUD 画面にマイクのアイコンが表示されます。



終了

音声アシスタントを使用している状態で、操作スイッチを押すと、音声アシスタントが終了します。
音声アシスタントが終了すると、HUD 画面のマイクのアイコンが非表示になります。



4.3 電話操作

着信時

応答：操作スイッチ短押し（1 秒）



着信中表示



通話中表示



重要 着信時、スマートフォンで応答した場合は、本製品のスピーカーから音声は出力されません。必ず操作スイッチで応答してください。

拒否：操作スイッチ長押し（3 秒以上）



着信中表示



終話表示



終話

終話：操作スイッチを長押し（3 秒以上）



通話中表示



終話表示



重要 スマートフォンのBluetooth 設定画面から、「OPTICSON」の電話の音声を ON に設定していないと、電話着信音や通話音声スピーカーから出力されません。事前に「3.6 音声の出力設定」を参照し、設定を完了してください。

警告

- 本製品のスピーカーを大音量にした状態での運転は大変危険です。運転に必要な周囲の音が聞き取りにくくなり、重大な事故の原因になります。
- 本製品のスピーカーの音量は、周囲の音が優先して確認できる範囲で設定してください。スピーカーの音声に集中すると、運転意識の低下につながり、重大な事故の原因になります。

注意

本製品のスピーカーの音量は、耳に負担をかけない範囲で設定してください。突然の大音量や、大音量を長時間続けて聞くと、鼓膜の損傷や聴力を損なうおそれがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

4.4 エラー表示の内容と対処方法

HUD に異常が発生した場合、HUD 画面にエラーが表示されます。

バッテリー交換



バッテリーに異常がある場合に表示されます。
本画面が表示された場合、バッテリーが故障しているか、純正以外のバッテリーが接続されている可能性があります。新しい純正の OPTICSON 専用バッテリーに交換してください。

スイッチ故障



操作スイッチ、音量（+）スイッチ、音量（－）スイッチに異常がある場合に表示されます。
本画面が表示された場合、スイッチモジュール内部が断線などで故障している可能性があります。直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

センサー故障



調光センサーに異常がある場合に表示されます。
本画面が表示された場合、調光センサーが故障している可能性があります。直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

4.5 ツーリングサポーターの操作方法

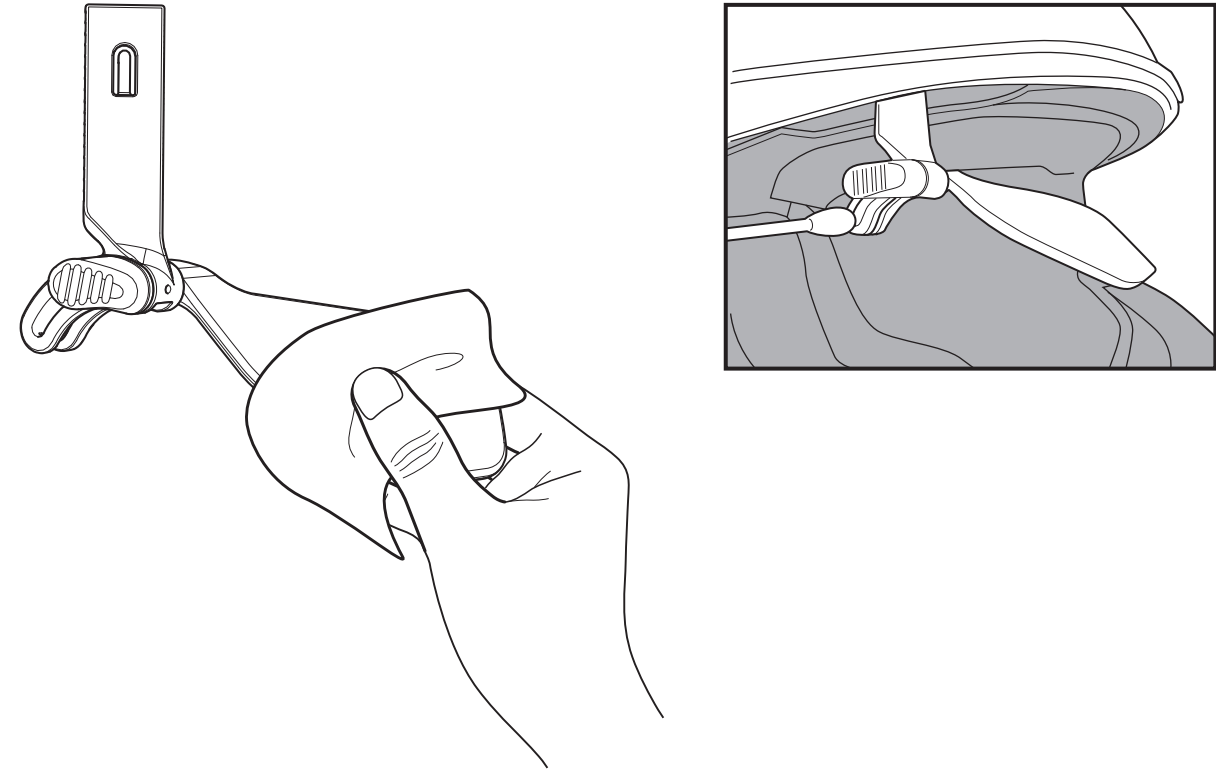
ツーリングサポーターの操作方法については、ツーリングサポーターの操作方法説明ページ (<https://static.cld.navitime.jp/smartstorage/moto/opticson/info.html>) を参照してください。



5 メンテナンス

5.1 コンバイナのメンテナンス

メガネ拭きのような柔らかい布で、やさしく拭き上げてください。
コンバイナには防曇加工が施されていますが、低温時や雨天時など、走行環境によっては曇る場合があります。その場合は、市販の防曇レンズ専用メガネ拭き（クロスタイプ）で拭きあげてください。コンバイナの昇降機構のレールの動きが固くなってきた場合は、昇降機構のレール部分に、綿棒などでシリコンオイルを少量塗布してください。また、レール部分にプラスチックカスなどが付着している場合は、取り除いてからシリコンオイルを塗布してください。

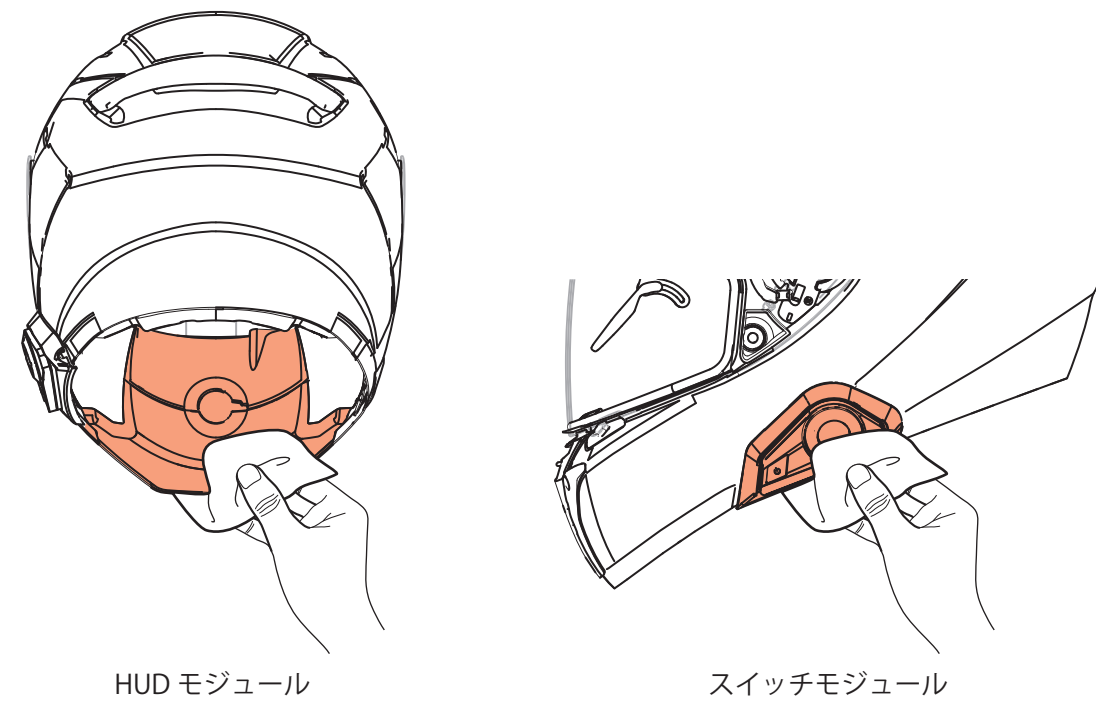


注 記

- コンバイナが濡れた場合は、ドライヤーなどで乾燥させず、メガネ拭きのような柔らかい布で、やさしく拭きあげてください。
コンバイナに傷が付き、視界不良となった場合は、使用せずに交換してください。また、ひび・割れなどがある場合も交換してください。
- コンバイナが経年劣化で変色した場合は、使用せずに交換してください。
- コンバイナの破損などによる交換については、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- コンバイナが曇った場合は、ベンチレーションを開けるなどして、ヘルメット内を換気し、曇りを取り除いてください。

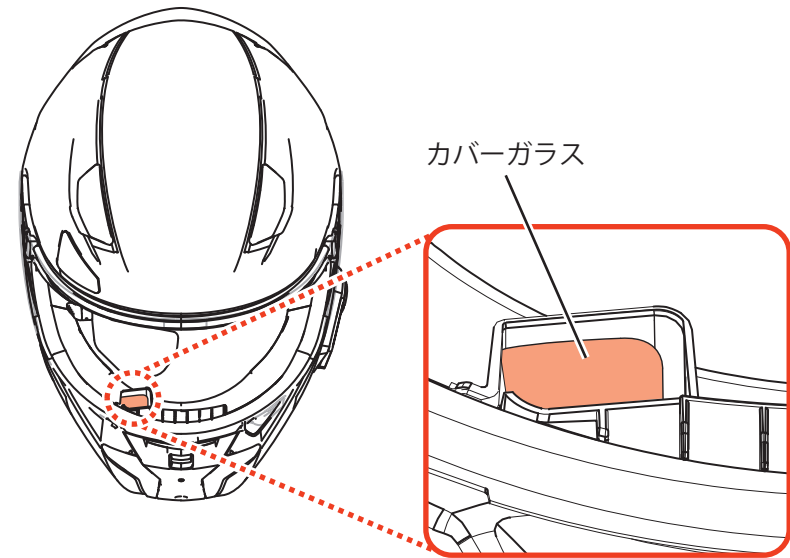
5.2 HUD モジュール／スイッチモジュールのメンテナンス

柔らかい布を水で薄めた中性洗剤で湿らせて拭いてください。スイッチモジュールにあるバッテリーコネクタは、乾いた柔らかい布で拭いてください。



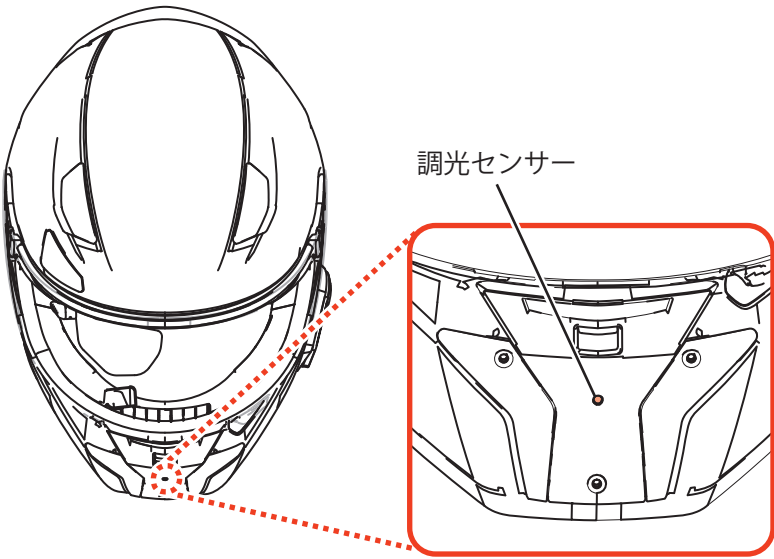
5.3 カバーガラスのメンテナンス

カバーガラスに細かいごみがある場合は、最初にエアダスターなどで、ゴミを除去してください。柔らかい布をからめた綿棒で、全体を拭いてください。



5.4 調光センサーのメンテナンス

調光センサーに細かいごみがある場合は、最初にエアダスターなどで、ゴミを除去してください。メガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。汚れが気になる場合は、中性洗剤を溶かした水を含ませて拭いてください。その後、洗剤が調光センサー部分に残らないよう、水で湿らせた柔らかい布で拭きあげてください。



注 記

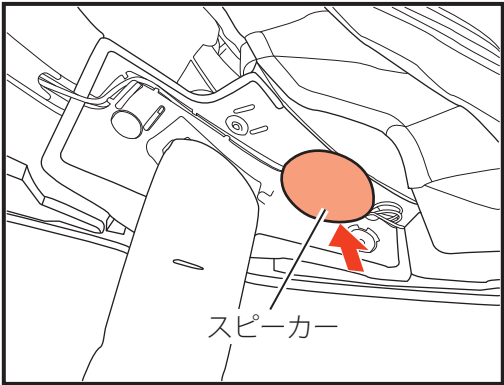
石油系有機溶剤は使用しないでください。調光センサーの表面が溶け、調光機能が正常に動作しなくなるおそれがあります。

5.5 スピーカーカバーの再取り付け

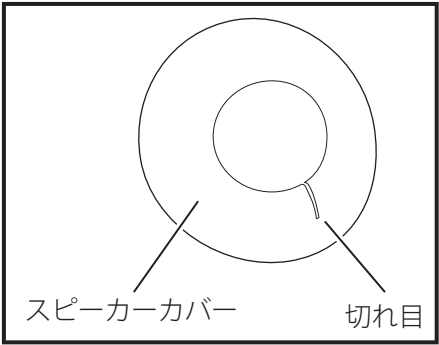
ヘルメット着脱時に、スピーカーカバーがずれたり、外れたりしたときは、以下の手順で再取り付けしてください。

- 1 図の矢印のスピーカーとイヤースペースの間に、先の平らなヘラなどを差し込み、イヤースペースの面ファスナーからスピーカーを剥がします。

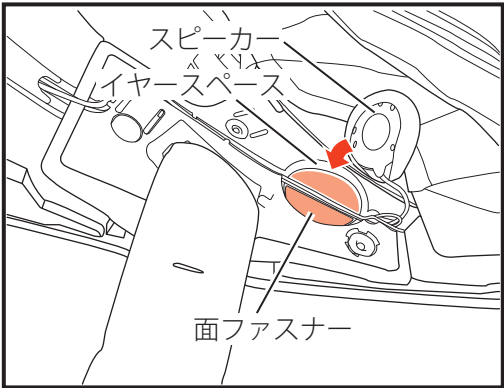
重要 取り外し時、スピーカーの取り付け向きを覚えておいてください。



- 2 スピーカーにスピーカーカバーを付け直します。
スピーカーカバーにはケーブルを通す切れ目が入っていますので、カバーの切れ目にケーブルが通るように付け直してください。



- 3 スピーカーをイヤースペースの面ファスナーに取り付けます。
スピーカーは、取り外し前と同じ向きに取り付けてください。



下記リンクよりmy SHOEIへ
本登録をお願い致します。
[https://store.shoei.com/
member/login.php](https://store.shoei.com/member/login.php)



保証書

お客様氏名	
住所	
電話番号	
E-Mail	
my SHOEI ユーザー ID	
製品名	OPTICSON
カラー	
サイズ	
製品固有番号	—
販売日	
販売者(有資格者)名	

※出荷者が異なる場合は出荷者(有資格者)名もお書きください。

販売店印

TEL

E-Mail

正規販売店登録番号

保証期間

- ・HUDユニット (HUDモジュール、コンバイナ、スイッチモジュール、ACアダプター、バッテリーコード、マイク、スピーカー)：本製品をご購入後1年間
- ・HUDユニットを除くヘルメット本体：本製品をご購入後3年間

保証対象のお客様

- ・本保証の対象は、本製品を新規にOPTICSON正規認定販売店(以下「販売店」といいます。)からご購入されたお客様に限られます。転売や譲渡による保証対象者の変更はできません。
- ・日本国内に居住し、日本国内で本製品を使用しているお客様に限られます。

保証内容

- ・保証期間内に本製品の材質あるいは製造上の瑕疵があると認められる場合、保証適用の条件に従い、修理に関わる部品および工賃を含め修理または交換を無償で行います。

保証適用の条件

- ・保証を有効にさせていただくために、ご購入後30日以内にSHOEIオフィシャル総合会員サイト「my SHOEI」への製品登録が必要です。
- ・実際に保証をお受けになる場合は、ご購入販売店にて対象製品と共に本保証書のご提示が必要です。
- ・「my SHOEI」へ製品登録がされていない場合は、保証対象外となります。
- ・本保証書に製品名、カラー、サイズ、製品固有番号(シリアルナンバー)、販売店印、販売日、販売者名、お客様情報の記載のない場合は、保証対象外となります。

保証適用の対象とならない場合

- ・通常のご使用過程において付いた、傷または汚れ。
- ・事故による破損、傷または汚れ。
- ・取扱説明書に示された内容以外の使用をされた場合。
- ・故意か否かにかかわらず、自動二輪車用安全帽以外の用途に使用された場合。
- ・改造されている場合、また取扱説明書に記載された正しいメンテナンスが行われていない場合。
- ・経時劣化(塗料、部品、内装品等)。
- ・純正部品以外の部品を使用した場合。

保証を受けるには

- ・対象製品と本保証書をご準備のうえ、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。
- ・本保証書を紛失した場合は保証対象とならない場合があります。再発行は承っておりませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ・修理または交換作業はご購入いただいた販売店が承ります。内容により販売店にて修理出来ない場合は、販売店受付後、弊社にて修理する場合があります。
- ・お引越しや購入販売店の閉店の場合は、弊社Webサイトに記載の最寄りのOPTICSON正規販売店にお問い合わせください。